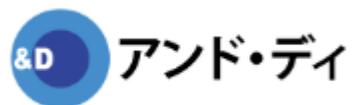




来訪者満足度調査2024 報告書【南紀白浜エリア】

2024年3月7日



▶ 調査概要	3	▶ 体験と評価	
- 調査概要	4	- 体験内容	26
- 2023年度より調査項目の変更点	5	- 体験の満足度 28	
- 2024年度の国内旅行概況	6	- 施設の評価 30	
▶ 回答者プロフィール		- 施設の評価【宿泊施設・飲食店】	31
- 性別／年代／居住地	8	- 施設の評価【土産店・観光スポット】	32
- 滞在時間	9	▶ 総合指標	
▶ 来訪実態		- KPI指標等の水準把握：「その他」含む	34
- 来訪回数（10年以内）	11	- KPI指標等の水準把握：「その他」除外	35
- 旅行同行者	12	- 総合指標の結果	36
- 宿泊形態	13	- 総合指標の結果：主要3項目	37
- パッケージツアーの利用状況	14	- 総合満足度と体験内容	39
- パッケージツアー代	15	- 総合満足度と個別評価	40
- 交通手段（南紀白浜まで、南紀白浜内）	16	▶ 考察	
- 交通手段（南紀白浜まで、南紀白浜内）	17	- 調査結果からの考察	42
- 南紀白浜来訪前後の立ち寄り場所	18	- 施設の評価【良かった点・改善点】	45
- 南紀白浜来訪前後の立ち寄り場所	19	- 交通手段【良かった点・改善点】	47
- 南紀白浜来訪前後の立ち寄り場所	20	▶ 付表	
- 南紀白浜を選んだ際の情報源	21	- 調査票	
- 南紀白浜を選んだ際の情報源	22		
- 再訪の決め手	23		

▶調査目的

- 観光客の来訪実態を知り、今後の戦略立案・施策振り返りに必要なデータを取得する

▶調査項目

- 2022年度まで観光局で使用されていた設問案から体験内容とその満足度などの設問を一部追加
- 詳細は次頁に記載

▶調査方法

- 観光施設・宿泊施設・交通機関等でQRを配布しWeb回答法で実施
 - 注意) 2022年度は、対面調査とWeb回収の2種類を併用した。本年度はWeb回答法のみ

▶調査期間

- 2024年7月1日～2025年1月31日

▶調査対象、有効回答数

- 上記調査期間に南紀白浜エリアへ来訪した旅行者、1,066件
 - うち外国人旅行者5件

▶実査・分析

- 株式会社アンド・ディ

▶報告書上注意点

- 属性別分析の際、30サンプルを下回る属性については分析実施なし
 - 参考程度とする

▶ 調査地点及び回収件数

あなたがこのアンケートを依頼された・知った場所

	(件数)
1 湯快リゾートプレミアム 白浜彩朝楽	21
2 湯快リゾートプレミアム 白浜御苑	78
3 湯快リゾートプレミアム ホテル千畳	27
4 ホステルのアサ	2
5 くろしお想	1
6 南紀白浜 和みの湯 花鳥風月	5
7 ホテル川久	27
8 紀州・白浜温泉むさし	13
9 白良荘グランドホテル	32
10 温泉三味の宿 白浜館	15
11 旅館 万亭	2
12 癒しの宿 クアハウス白浜	13
13 ホテル三楽荘	12
14 南紀白浜マリオットホテル	28
15 家族と過ごす白浜の宿 柳屋	10
16 SHIRAHAMA KEY TERRACE HOTEL SEAMORE	71
17 オーベルジュサウステラス	4
18 浜千鳥の湯 海舟	48
19 ホテル天山閣海ゆり庭	16
20 INFINITO HOTEL & SPA 南紀白浜	3
21 エクシブ白浜	1
22 エクシブ白浜アネックス	2
23 椿温泉 海椿葉山	2

	(件数)
24 椿温泉 しらさぎ	7
25 リヴァージュ・スパひきがわ	2
26 アドベンチャーワールド	67
27 白浜エネルギーランド	16
28 三段壁洞窟	71
29 グラスポート	0
30 京都大学水族館	42
31 南方熊楠記念館	107
32 白浜美術館・歓喜神社	6
33 白浜駅	77
34 南紀白浜エアポート	28
35 明光バス	2
36 観光案内所しらすな	9
37 紀伊半島観光情報ステーション	10
38 道の駅 海来館	13
39 椿温泉 はなの湯	20
40 とれとれ市場南紀白浜	118
41 茜・千畳茶屋	1
42 フィッシャーマンズワープ白浜	19
43 白浜町	0
44 白浜町商工会	1
45 白浜温泉旅館協同組合	3
46 その他	14
合計	1066

2023年度より調査項目の変更点

2023との比較

	Q			変更理由
		設問文	選択肢	
新規 削除	Q0	あなたがこのアンケートを依頼された・知った場所をひとつだけお選びください。		調査地点ごとの回収数を把握するため設置
		前回、南紀白浜へ来訪されたのはいつですか。		結果の活用がないことから回答負荷軽減のため削除
		1 1年前未満		
		2 3年前未満		
		3 5年前未満		
設問変更	Q11	旅行先として南紀白浜を選んだ際の情報源は何ですか？		きっかけ（行動）と情報源が混在していたため、「情報源」として聴取することに変更
		1 以前来訪した際の自身の経験		
		2 家族や友人知人からの紹介・推奨		
		3 旅行会社のパンフレット		
		4 県市町村や地元観光局のパンフレット		
		5 SNS（Facebook、Instagram、X：旧Twitterなど）		
		6 県市町村や地元観光局のサイト、ブログ		
		7 観光情報が中心のサイト・ブログ（じゃらんnetやトリップアドバイザーなど）		
		8 その他インターネットの情報		
		9 旅行雑誌・ガイドブックの記事		
		10 テレビや映画での紹介、ロケ地情報		
		11 自分の意志外（団体旅行、ビジネス、帰省など）		
		12 その他（ ）		
選択肢変更	Q16	旅行中に南紀白浜で体験したことをお選びください。		体験評価に合わせて変更
		1 温泉		
		2 地元の名産品や郷土料理（海産物、和歌山ラーメンなど）		
		3 地元の飲食店（カフェ、レストランなど）		
		4 海のアクティビティ（海水浴、ダイビング、釣りなど）		
		5 山でのアクティビティ（キャンプ、トレッキング、ハイキングなど）		
		6 動物園や水族館などの観光施設		
		7 サイクリング		
		8 自然や景勝地（洞窟・断崖など）		
		9 歴史的な名所（史跡・寺社仏閣）		
		10 文化施設（資料館・博物館）		
		11 有料の体験ツアーや体験プログラム		
		12 祭りやイベント		
		13 地元住民の方とのコミュニケーション		
選択肢変更	Q17	体験したことの評価をお選びください。		2023年度は「グルメ」として一括りとしていたものを地元の名産品や郷土料理（地域ならではの資源）の評価を抽出するため変更
		1 温泉		
		2 地元の名産品や郷土料理（海産物、和歌山ラーメンなど）		
		3 地元の飲食店（カフェ、レストランなど）		
		4 海のアクティビティ（海水浴、ダイビング、釣りなど）		
		5 山でのアクティビティ（キャンプ、トレッキング、ハイキングなど）		
		6 動物園や水族館などの観光施設		
		7 サイクリング		
		8 自然や景勝地（洞窟・断崖など）		
		9 歴史的な名所（史跡・寺社仏閣）		
		10 文化施設（資料館・博物館）		
		11 有料の体験ツアーや体験プログラム		
		12 祭りやイベント		
		13 地元住民の方とのコミュニケーション		
削除		南紀白浜で体験したことで特に満足度が高かったことをひとつだけご記入ください。		前問で体験したことの評価を聴取している（重複感）と自由回答の回答負荷が合わさり、回答脱落率が高かったため削除

▶日本国内旅行市場は、消費額の増加が顕著で、四半期ベースで過去最高を記録。特に、7～9月期の国内旅行消費額は、前年同期比で14.7%増加。宿泊旅行の平均支出が7万円を超えるなど旅行単価の上昇がみられる。旅行者数はコロナ禍前（2019年）と比較するとほぼ同程度まで回復してきているものの、上回りにはならない見込み。

- 円安の影響で海外旅行を国内旅行へシフトする傾向がみられる
- 消費額の増加理由には物価上昇の影響が色濃くあり、旅行関連費用の上昇・宿泊費や飲食費の上昇が該当
- 物価上昇は、旅行者数が増加しないことにも影響

▶ただし、訪日外国人旅行者の旅行者数及び消費額は円安の影響もあり非常に好調。特徴として、高付加価値旅行者の人数・消費額が2019年（コロナ流行前）を大きく上回る。高付加価値旅行者に合わせた宿泊施設や体験型コンテンツ・旅行商品も増加傾向となっており、それは今後国内旅行者の関心を寄せる大きな要素になりえそうである。

（図表1）2025年 年間旅行動向推計数値

	2025年予測			2024年予測			2019年実績推計
	予想	前年(24)比	19年比	予想	前年(23)比	19年比	確定
総旅行人数（延べ人数）	3億1,910万人	102.9%	102.1%	3億1,000万人	104.3%	99.4%	3億1,178万人
国内旅行	3億500万人	102.7%	104.7%	2億9,700万人	103.2%	101.8%	2億9,170万人
海外旅行	1,410万人	108.5%	70.3%	1,300万人	135.1%	64.8%	2,008万人
一人あたり旅行費用							
国内旅行	47,800円	101.1%	125.5%	47,300円	106.6%	124.1%	38,100円
海外旅行	334,100円	106.2%	140.9%	314,500円	105.8%	132.6%	237,200円
総旅行消費額	19兆3,000億円	106.4%	121.5%	18兆1,400億円	116.1%	114.2%	15兆8,900億円
国内旅行	14兆5,900億円	103.8%	131.2%	14兆500億円	110.0%	126.4%	11兆1,200億円
海外旅行	4兆7,100億円	115.2%	98.7%	4兆900億円	143.0%	85.7%	4兆7,700億円
平均旅行回数	2.58回	0.08回	0.07回	2.50回	0.12回	▲0.01回	2.51回
訪日外国人旅行者数	4,020万人	108.9%	126.1%	3,690万人	147.2%	115.7%	3,188万人

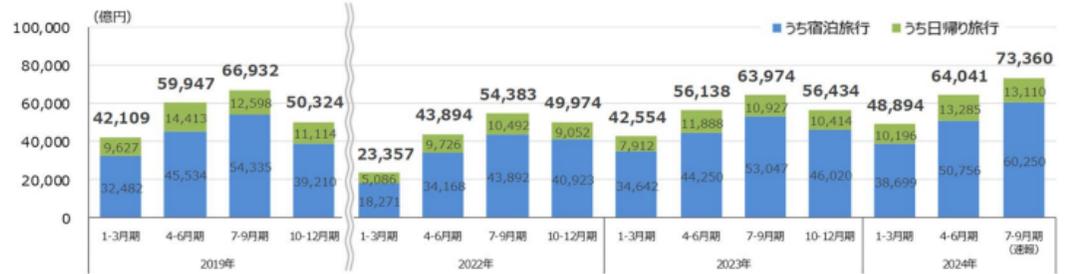
（出所）JTB 2025年（1～12月）の旅行動向見通し

図表1 高付加価値旅行者の人数・単価・消費総額

	2019年	24年度上期 (年率換算)	増減率
人数	28.7万人	52.8万人	+84%
単価	192万円	150万円	▲22%
消費総額	5.523億円	7.912億円	+43%

（出所）観光庁「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくりに向けたアクションプラン」（2022年5月）、観光庁「インバウンド消費動向調査」個票データより、みずほリサーチ&テクノロジーズ作成

【図表1】日本人国内旅行消費額の推移



【図表2】日本人国内旅行消費額

国内旅行全体	消費額	2019年同期比	前年同期比	うち宿泊旅行		うち日帰り旅行	
				消費額	2019年同期比	消費額	2019年同期比
				前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比
2019年	1-3月期	42,109	-	32,482	-	9,627	-
	4-6月期	59,947	-4.9%	45,534	-3.9%	14,413	-8.4%
	7-9月期	66,932	+19.0%	54,335	+19.6%	12,598	+17.2%
	10-12月期	50,324	+3.9%	39,210	+5.1%	11,114	-1.0%
2022年	1-3月期	23,357	+10.0%	18,271	+13.7%	5,086	-1.2%
	4-6月期	43,894	-44.5%	34,168	-43.8%	9,726	-47.2%
	7-9月期	54,383	+43.6%	43,892	+45.0%	10,492	+38.7%
	10-12月期	49,974	-26.8%	40,923	+136.6%	9,052	-32.5%
2023年	1-3月期	42,554	-18.7%	34,642	+142.9%	7,912	-16.7%
	4-6月期	56,138	-0.7%	44,250	+4.4%	11,888	-18.6%
	7-9月期	63,974	+47.6%	53,047	+53.7%	10,927	+25.2%
	10-12月期	56,434	+1.1%	46,020	+82.2%	10,414	-17.8%
2024年	1-3月期	48,894	-6.4%	38,699	+6.7%	10,196	+5.9%
	4-6月期	64,041	-2.8%	50,756	+20.9%	13,285	-17.5%
	7-9月期	73,360	+17.6%	60,250	+29.5%	13,110	-13.3%
	10-12月期	-	+17.9%	-	+12.5%	-	+4.2%

（出所）旅行・観光消費動向調査2024年7-9月期（速報）



01

回答者プロフィール

- 性、年代、居住地

▶回答者の性別は「女性」(67%)が7割を占める

▶回答者の年代は「50代」が28%で最も高く、「40～50代」(51%)が半数以上を占める

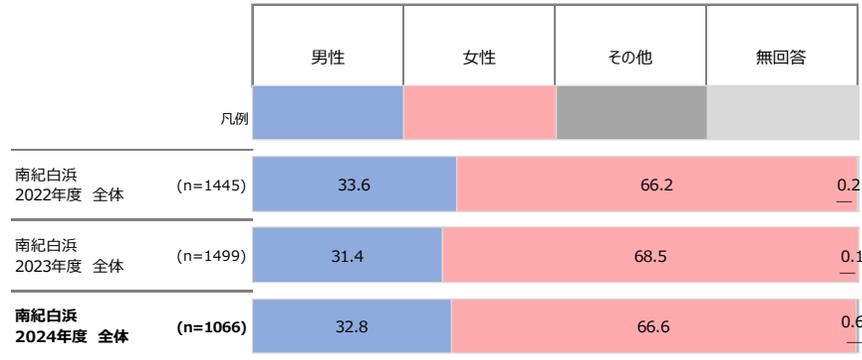
▶回答者の居住地は「関西」(65%)が6割以上を占め、次いで「関東」が16%で高い

- 「日本以外」(0.3%)の内訳はアメリカ、中国、台湾など

▶2023年度と比べて、「30代以下」の割合が5pt減少し経年比較でも減少傾向、一方「40～50代」「60代以上」は経年比較で増加傾向

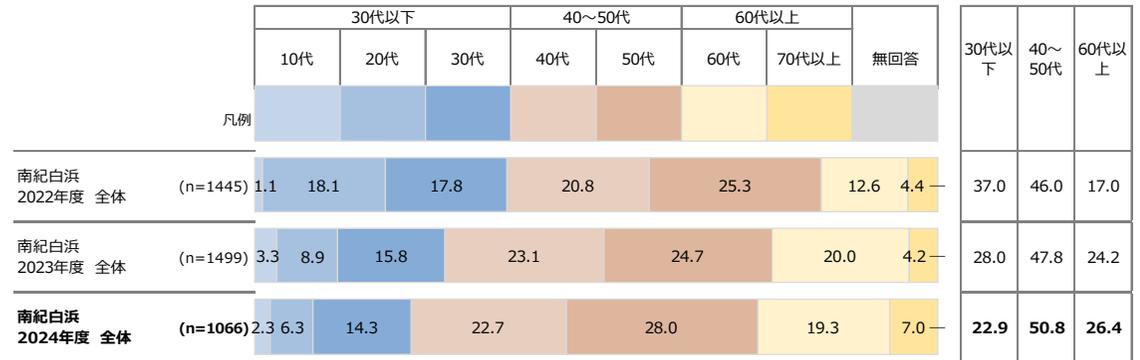
■性別 (全体/単一回答)

Q1. 性別を教えてください。



■年代 (全体/実数回答)

Q2. 年齢を教えてください。



■居住地 (全体/単一回答)

Q3. 居住地を教えてください。



▶南紀白浜での滞在時間は「宿泊・計」（88%）が9割を占める

▶宿泊数は「1泊」が最も多く61%。次いで「2泊」（21%）が高く、1泊～2泊で8割以上を占める

▶2023年と比べると、「日帰り」の割合が微増

- ただし、日帰り客のサンプル数を増加させる方向で回収を行っているためあくまでデータとしての傾向に留めること

-同行者別にみると、子供連れ家族の9割以上が「宿泊」をしており、友人・知人、ひとり旅は「日帰り」が他と比べて高い

- 実態と比較すると宿泊客の割合が圧倒的に多く、以降の『全体値』はほぼ「南紀白浜の宿泊客」の意見となる
- 日帰り客の実態が全体値からは見えにくくなっているため、以降の設問から、全体値のコメントの下に日帰り客の結果もコメントをする

■滞在時間（全体／単一回答）

Q8. 南紀白浜での宿泊数を教えてください。

凡例	宿泊・計			日帰り	無回答	宿泊・計 (%)
	1泊	2泊	3泊以上			
南紀白浜 2022年度 全体 (n=1445)	68.1			21.5	5.3	94.9
南紀白浜 2023年度 全体 (n=1499)	64.3			20.3	7.3	91.9
南紀白浜 2024年度 全体 (n=1066)	61.4			20.7	6.3	88.4

	調査数	宿泊・計			日帰り	無回答	宿泊・計 (%)
		1泊	2泊	3泊以上			
南紀白浜2024年度 全体	(n=1066)	61.4	20.7	6.3	11.6	-	88.4
総合満足度別	大変満足 (n=503)	60.8	22.3	6.2	10.7	-	89.3
性年代別	男性 (n=350)	61.1	19.1	4.6	15.1	-	84.9
	女性 (n=710)	61.5	21.7	7.2	9.6	-	90.4
	30代以下 (n=244)	61.1	23.4	6.6	9.0	-	91.0
	40～50代 (n=541)	58.6	20.5	6.1	14.8	-	85.2
	60代以上 (n=281)	66.9	18.9	6.4	7.8	-	92.2
居住地別	和歌山県内 (n=113)	54.0	2.7	-	43.4	-	56.6
	和歌山県外・計 (n=953)	62.2	22.9	7.0	7.9	-	92.1
	大阪府 (n=326)	74.8	14.7	2.5	8.0	-	92.0
	首都圏 (n=164)	41.5	33.5	18.3	6.7	-	93.3
旅行同行者別	中学生以下の子供を含む家族 (n=237)	61.2	25.3	7.6	5.9	-	94.1
	高校生以上の子供を含む家族 (n=188)	66.5	22.9	4.8	5.9	-	94.1
	夫婦・カップル (n=408)	65.2	17.2	5.9	11.8	-	88.2
	友人・知人 (n=84)	60.7	19.0	3.6	16.7	-	83.3
	ひとり (n=131)	40.5	23.7	9.2	26.7	-	73.3
	その他 (n=18)	77.8	5.6	5.6	11.1	-	88.9
来訪回数別	初めて (n=288)	61.5	22.9	8.7	6.9	-	93.1
	リピーター (n=778)	61.3	19.9	5.4	13.4	-	86.6
来訪時期別	夏季 (n=594)	58.6	21.9	8.1	11.4	-	88.6
	秋季 (n=351)	62.1	20.2	4.8	12.8	-	87.2
	冬季 (n=121)	72.7	16.5	1.7	9.1	-	90.9
滞在期間別	日帰り (n=124)	-	-	-	100.0	-	-
	宿泊 (n=942)	69.4	23.5	7.1	-	-	100.0

- +10 : 「2023年度 全体」より10ポイント以上高い数値に網掛け
- +5 : 「2023年度 全体」より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
- 5 : 「2023年度 全体」より5ポイント以上10ポイント未満低い数値に網掛け
- 10 : 「2023年度 全体」より10ポイント以上低い数値に網掛け

02

来訪実態

- 本エリア来訪回数
- 同行者
- 滞在時間
- 宿泊形態
- 交通手段
- 立ち寄り場所



▶リピーター・率（KPI指標）は73%。うち、「5回目以上」が42%で最も高い

▶2023年度と比べて、「リピーター・計」は変化はないが、「2回目」のリピーターが3pt増加

-【日帰り客】の「リピーター・計」は84%。「5回目以上」が62%を占める

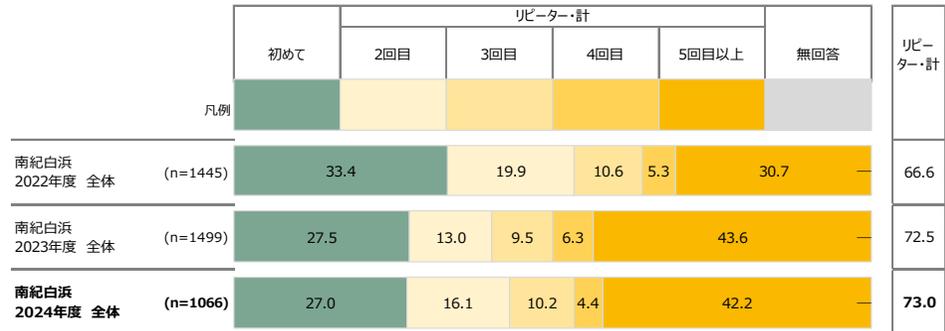
-居住地別にみると、首都圏からの来訪者では「初めて」（52%）の割合が突出して高い

-「2回目」の割合が増加した要因として、友人・知人旅行者の割合が増加した影響が考えられる

- 2023年は友人・知人旅行者のリピーター率が72%に対して本年度は79%と増加している。特に2回目は11%→21%に増

■来訪回数（10年以内）（全体/単一回答）

Q10. 10年以内の南紀白浜への来訪回数を教えてください。



	調査数	初めて	リピーター・計				無回答	リピーター・計 (%)
			2回目	3回目	4回目	5回目以上		
南紀白浜2024年度 全体	(n=1066)	27.0	16.1	10.2	4.4	42.2	—	73.0
総合満足度別 大変満足	(n=503)	27.6	14.5	9.7	3.6	44.5	—	72.4
性年代別	男性 (n=350)	27.7	15.4	7.7	6.0	43.1	—	72.3
	女性 (n=710)	26.8	16.5	11.3	3.7	41.8	—	73.2
	30代以下 (n=244)	36.1	16.8	10.7	2.5	34.0	—	63.9
	40~50代 (n=541)	23.8	15.2	9.8	5.2	46.0	—	76.2
	60代以上 (n=281)	25.3	17.4	10.7	4.6	42.0	—	74.7
居住地別	和歌山県内 (n=113)	2.7	4.4	6.2	1.8	85.0	—	97.3
	和歌山県外・計 (n=953)	29.9	17.5	10.7	4.7	37.1	—	70.1
	大阪府 (n=326)	13.8	17.8	12.9	6.7	48.8	—	86.2
旅行同行者別	首都圏 (n=164)	51.8	13.4	4.3	1.8	28.7	—	48.2
	中学生以下の子供を含む家族 (n=237)	29.1	19.0	8.4	4.6	38.8	—	70.9
	高校生以上の子供を含む家族 (n=188)	29.3	16.5	12.2	4.3	37.8	—	70.7
	夫婦・カップル (n=408)	26.0	14.2	10.8	4.7	44.4	—	74.0
来訪時期別	友人・知人 (n=84)	21.4	21.4	11.9	6.0	39.3	—	78.6
	ひとり (n=131)	26.7	14.5	8.4	2.3	48.1	—	73.3
	その他 (n=18)	27.8	5.6	5.6	5.6	55.6	—	72.2
滞在期間別	夏季 (n=594)	27.8	16.7	9.4	4.2	41.9	—	72.2
	秋季 (n=351)	29.6	15.4	11.1	4.6	39.3	—	70.4
	冬季 (n=121)	15.7	15.7	11.6	5.0	52.1	—	84.3
滞在中	日帰り (n=124)	16.1	8.9	8.9	4.0	62.1	—	83.9
	宿泊 (n=942)	28.5	17.1	10.4	4.5	39.6	—	71.5

+10 : 「2023年度 全体」より10ポイント以上高い数値に網掛け
 +5 : 「2023年度 全体」より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
 -5 : 「2023年度 全体」より5ポイント以上10ポイント未満低い数値に網掛け
 -10 : 「2023年度 全体」より10ポイント以上低い数値に網掛け

▶旅行同行者は「夫婦・カップル」の割合が最も高く38%。次いで「中学生以下の子供を含む家族」(22%)、「高校生以上の子供を含む家族」(18%)が高い。「子供連れ・計」は40%と、来訪者の4割は子供連れ。

▶2023年度と比べて、「中学生以下の子供を含む家族」が6pt減少し、「子供連れ・計」が4pt減少。一方「ひとり」は6pt増加。

※ 選択肢が変更となり、2022年度の「子供連れ・計」の内訳は算出不可

-【日帰り客】の旅行同行者も「夫婦・カップル」が39%で最も多く、次いで「ひとり」が28%と全体と比べて16pt高くなっている。

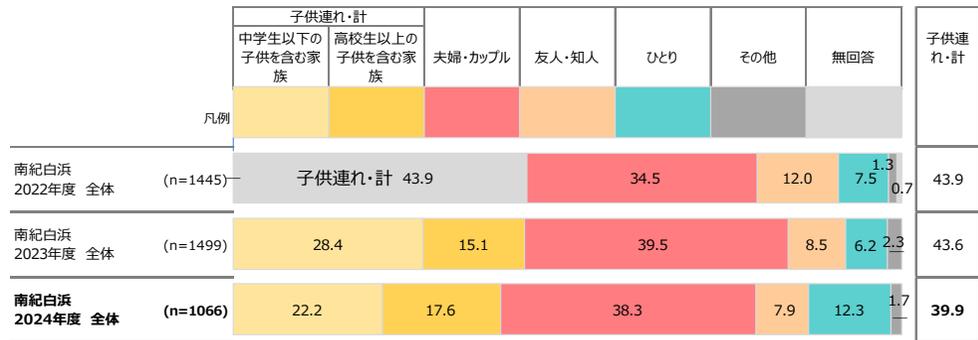
-年代別にみると、30代以下では「中学生以下の子供を含む家族」が最も高く、60代以上で「夫婦・カップル」の割合が突出して高い

-居住地別にみると、県内居住者では「友人・知人」「ひとり」の割合が他と比べて高い。首都圏からの来訪者では「夫婦・カップル」の割合が最も高いが、他と比べると低い

-来訪時期別にみると、夏季では「中学生以下の子供を含む家族」、秋季では「夫婦・カップル」の割合が最も高い

■旅行同行者 (全体/単一回答)

Q5. 今回の旅行の同行者を教えてください。



	調査数	子供連れ・計		夫婦・カップル	友人・知人	ひとり	その他	無回答	子供連れ・計
		中学生以下の子供(未子)を含む家族	高校生以上の子供を含む家族						
南紀白浜2024年度 全体	(n=1066)	22.2	17.6	38.3	7.9	12.3	1.7	—	39.9
総合満足度別 大変満足	(n=503)	25.4	16.9	39.6	6.6	9.5	2.0	—	42.3
性年代別	男性 (n=350)	18.9	11.1	46.3	7.4	15.7	0.6	—	30.0
	女性 (n=710)	24.1	21.0	34.2	7.9	10.6	2.3	—	45.1
	30代以下 (n=244)	40.6	15.2	25.0	8.6	8.2	2.5	—	55.7
	40~50代 (n=541)	21.4	18.5	36.8	7.6	13.9	1.8	—	39.9
	60代以上 (n=281)	7.8	18.1	52.7	7.8	12.8	0.7	—	26.0
居住地別	和歌山県内 (n=113)	17.7	13.3	36.3	14.2	17.7	0.9	—	31.0
	和歌山県外・計 (n=953)	22.8	18.2	38.5	7.1	11.6	1.8	—	40.9
	大阪府 (n=326)	24.5	18.7	39.6	7.7	7.1	2.5	—	43.3
来訪回数別	初めて (n=288)	24.0	19.1	36.8	6.3	12.2	1.7	—	43.1
リピーター (n=778)	21.6	17.1	38.8	8.5	12.3	1.7	—	38.7	
来訪時期別	夏季 (n=594)	29.0	16.0	34.0	8.2	10.8	2.0	—	44.9
	秋季 (n=351)	13.1	20.5	44.2	7.1	14.5	0.6	—	33.6
	冬季 (n=121)	15.7	17.4	42.1	8.3	13.2	3.3	—	33.1
滞在期間別	日帰り (n=124)	11.3	8.9	38.7	11.3	28.2	1.6	—	20.2
	宿泊 (n=942)	23.7	18.8	38.2	7.4	10.2	1.7	—	42.5

+10 : 「2023年度 全体」より10ポイント以上高い数値に網掛け
 +5 : 「2023年度 全体」より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
 -5 : 「2023年度 全体」より5ポイント以上10ポイント未満低い数値に網掛け
 -10 : 「2023年度 全体」より10ポイント以上低い数値に網掛け

▶ 宿泊形態は、「食事付き・計」が82%とほとんどを占めている。うち、「一泊二食付」が71%で最も高い。

▶ 2023年度と比べて、「一泊二食付」が7pt減少し、「一泊食事なし」3pt増加。

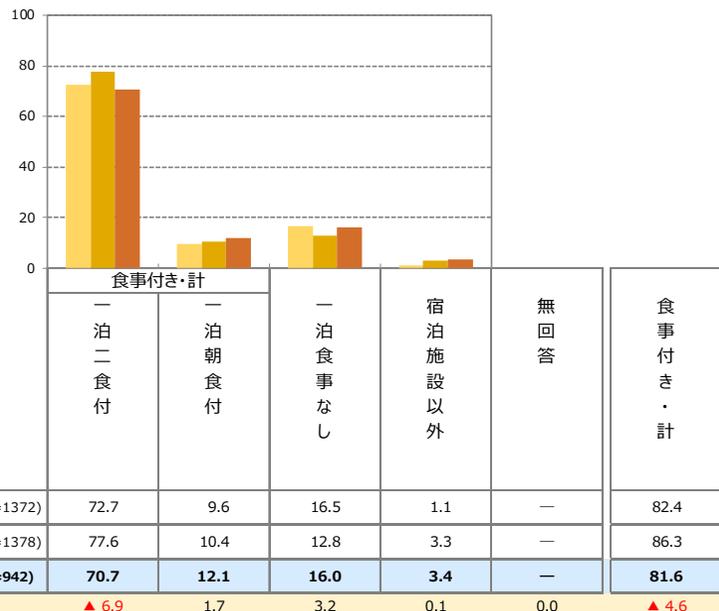
-年代別にみると、60代以上では「一泊二食付」の割合が高い

-居住地別にみると、県内居住者では「一泊二食付」の割合が他と比べて高い。首都圏からの来訪者は「一泊朝食付」の割合が他と比べて高く、夜は宿泊施設以外で食べている割合が高い

-旅行同行者別にみると、ひとり旅では「一泊食事なし」の割合が他と比べて突出して高く、宿泊施設以外で食べている割合が高い

■ 宿泊形態 (宿泊者/複数回答)

Q9. 宿泊の形態を教えてください。



(%)

	調査数	食事付き・計		一泊食事なし	宿泊施設以外	無回答	食事付き・計
		一泊二食付	一泊朝食付				
南紀白浜2024年度 全体	(n=942)	70.7	12.1	16.0	3.4	—	81.6
総合満足度別	大変満足 (n=449)	70.8	12.7	16.3	2.9	—	82.2
性年代別	男性 (n=297)	75.4	9.8	14.1	2.7	—	84.2
	女性 (n=642)	68.4	13.2	17.0	3.7	—	80.4
	30代以下 (n=222)	62.6	14.0	22.1	3.2	—	75.2
	40~50代 (n=461)	67.9	13.4	18.7	2.6	—	80.7
	60代以上 (n=259)	82.6	8.1	6.2	5.0	—	88.8
居住地別	和歌山県内 (n=64)	87.5	7.8	4.7	—	—	95.3
	和歌山県外・計 (n=878)	69.5	12.4	16.9	3.6	—	80.6
	大阪府 (n=300)	72.0	9.7	15.7	3.7	—	81.0
	首都圏 (n=153)	62.7	19.0	17.6	4.6	—	79.7
旅行同行者別	中学生以下の子供を含む家族 (n=223)	70.4	13.0	16.6	2.2	—	83.4
	高校生以上の子供を含む家族 (n=177)	79.7	9.6	9.0	3.4	—	88.1
	夫婦・カップル (n=360)	77.8	10.3	10.8	3.6	—	86.1
	友人・知人 (n=70)	60.0	18.6	20.0	4.3	—	75.7
	ひとり (n=96)	39.6	15.6	42.7	4.2	—	55.2
	その他 (n=16)	50.0	18.8	25.0	6.3	—	68.8
来訪回数別	初めて (n=268)	67.5	17.2	16.8	1.1	—	82.8
	リピーター (n=674)	72.0	10.1	15.7	4.3	—	81.2
来訪時期別	夏季 (n=526)	66.0	15.2	17.3	4.8	—	79.5
	秋季 (n=306)	74.8	8.8	15.7	2.0	—	83.0
	冬季 (n=110)	81.8	6.4	10.9	0.9	—	88.2
滞在期間別	日帰り (n=0)	—	—	—	—	—	—
	宿泊 (n=942)	70.7	12.1	16.0	3.4	—	81.6

+10 : 「2023年度 全体」より10ポイント以上高い数値に網掛け
 +5 : 「2023年度 全体」より5ポイント以上10ポイント未満高い数値に網掛け
 -5 : 「2023年度 全体」より5ポイント以上10ポイント未満低い数値に網掛け
 -10 : 「2023年度 全体」より10ポイント以上低い数値に網掛け

▶パッケージツアーは「利用した」(9%)と利用者は1割に満たない

▶2023年度と比べて変化はない

-【日帰り客】は利用者(はい)ない

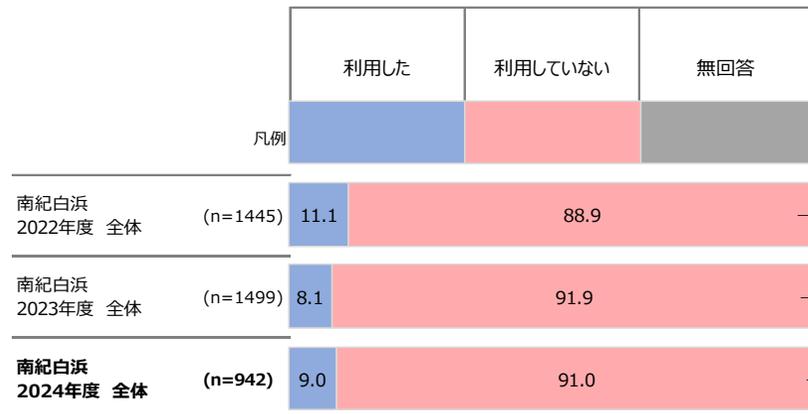
-居住地別にみると、首都圏からの来訪者では「利用した」(18%)と、2割に上り特徴的に高い

-来訪回数別にみると、初めてでは「利用した」が12%とリピーターと比べて高い

-来訪時期別にみると、冬季では「利用した」が16%と他の来訪時期と比べて高い

■パッケージツアーの利用有無 (全体/単一回答) (%)

Q14 今回のご旅行で宿泊先と交通手段がセットになったパッケージツアーを利用しましたか？



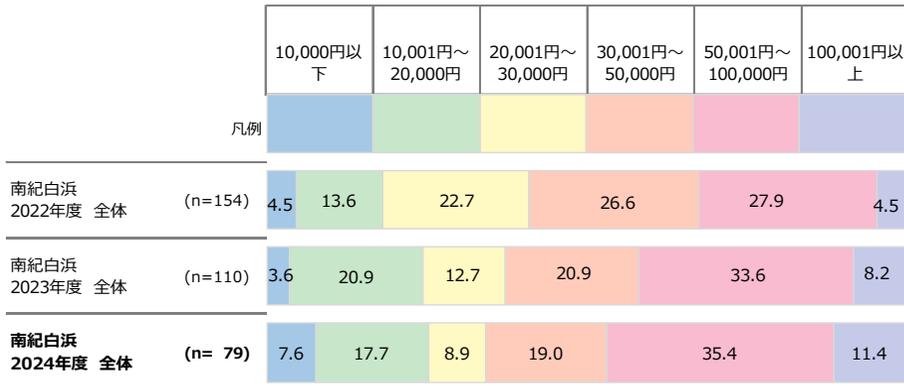
		調査数	利用した	利用していない	無回答	
南紀白浜2024年度 全体		(n=942)	9.0	91.0	—	
総合満足度別	大変満足	(n=449)	8.0	92.0	—	
	性年代別	男性	(n=297)	6.1	93.9	—
		女性	(n=642)	10.4	89.6	—
		30代以下	(n=222)	8.6	91.4	—
		40~50代	(n=461)	7.6	92.4	—
60代以上	(n=259)	12.0	88.0	—		
居住地別	和歌山県内	(n= 64)	3.1	96.9	—	
	和歌山県外・計	(n=878)	9.5	90.5	—	
	大阪府	(n=300)	6.7	93.3	—	
	首都圏	(n=153)	18.3	81.7	—	
旅行同行者別	中学生以下の子供を含む家族	(n=223)	4.9	95.1	—	
	高校生以上の子供を含む家族	(n=177)	13.0	87.0	—	
	夫婦・カップル	(n=360)	10.0	90.0	—	
	友人・知人	(n= 70)	10.0	90.0	—	
	ひとり	(n= 96)	4.2	95.8	—	
その他	(n= 16)	25.0	75.0	—		
来訪回数別	初めて	(n=268)	11.6	88.4	—	
	リピーター	(n=674)	8.0	92.0	—	
来訪時期別	夏季	(n=526)	8.6	91.4	—	
	秋季	(n=306)	7.5	92.5	—	
	冬季	(n=110)	15.5	84.5	—	
滞在期間別	日帰り	(n= 0)	—	—	—	
	宿泊	(n=942)	9.0	91.0	—	

▶パッケージツアー代は「50,001円～100,000円」が最も高く35%。次いで「30,001円～50,000円」（19%）「10,001円～20,000円」（18%）が高い

▶2023年度と比べて、30,001円以上が63%→66%に増加。特に高額額の「100,001円以上」が3pt増加。また、「10,000円以下」も4pt増加しており、価格が2極化傾向にある

- 年代別で見ると、年齢が上がるにつれて価格も上昇している
- 居住地別に見ると、首都圏からの来訪者では「50,001円～100,000円」（59%）が6割となり特徴的に高い
- 同伴者別に見ると、高校生以上の子供連れで「30,001円～100,000円」が7割と高い
 - 属性別の分析はサンプル数が少ないため参考値とする

■パッケージツアー代（パッケージツアー利用者/単一回答） (％)
Q15T3. パッケージツアー代

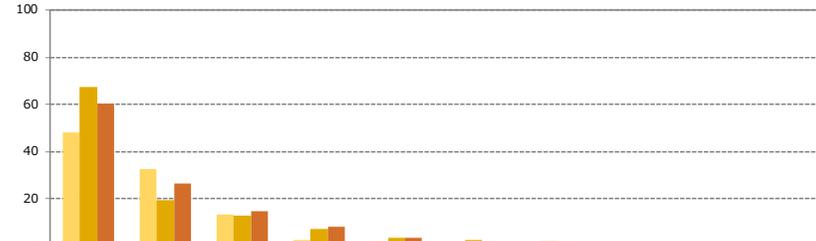


		調査数	10,000円以下	10,001円～20,000円	20,001円～30,000円	30,001円～50,000円	50,001円～100,000円	100,001円以上
南紀白浜2024年度 全体		(n= 79)	7.6	17.7	8.9	19.0	35.4	11.4
総合満足度別		大変満足 (n= 35)	11.4	20.0	5.7	14.3	40.0	8.6
性年代別	男性	(n= 15)	20.0	6.7	6.7	13.3	40.0	13.3
	女性	(n= 64)	4.7	20.3	9.4	20.3	34.4	10.9
	30代以下	(n= 16)	25.0	12.5	25.0	18.8	6.3	12.5
	40～50代	(n= 34)	2.9	17.6	2.9	20.6	50.0	5.9
	60代以上	(n= 29)	3.4	20.7	6.9	17.2	34.5	17.2
居住地別	和歌山県内	(n= 2)	50.0	-	50.0	-	-	-
	和歌山県外・計	(n= 77)	6.5	18.2	7.8	19.5	36.4	11.7
	大阪府	(n= 19)	10.5	31.6	15.8	26.3	5.3	10.5
	首都圏	(n= 27)	-	3.7	3.7	14.8	59.3	18.5
旅行同行者別	中学生以下の子供を含む家族	(n= 10)	10.0	-	20.0	20.0	30.0	20.0
	高校生以上の子供を含む家族	(n= 20)	-	15.0	5.0	25.0	45.0	10.0
	夫婦・カップル	(n= 35)	11.4	14.3	11.4	17.1	34.3	11.4
	友人・知人	(n= 6)	-	50.0	-	16.7	16.7	16.7
	ひとり	(n= 4)	25.0	-	-	25.0	50.0	-
	その他	(n= 4)	-	75.0	-	-	25.0	-
来訪回数別	初めて	(n= 29)	10.3	10.3	6.9	24.1	44.8	3.4
	リピーター	(n= 50)	6.0	22.0	10.0	16.0	30.0	16.0
来訪時期別	夏季	(n= 41)	4.9	12.2	9.8	29.3	34.1	9.8
	秋季	(n= 22)	9.1	13.6	13.6	9.1	36.4	18.2
	冬季	(n= 16)	12.5	37.5	-	6.3	37.5	6.3
滞在期間別	日帰り	(n= 0)	-	-	-	-	-	-
	宿泊	(n= 79)	7.6	17.7	8.9	19.0	35.4	11.4

- ▶南紀白浜までの交通手段は「マイカー」の割合が最も高く60%。次いで「電車」（26%）が高い
- ▶南紀白浜内の交通手段も「マイカー」の割合が最も高く58%。次いで「路線バス」（22%）が高い
- ▶2023年度と比べて、いずれも「マイカー」が7～8pt減少。南紀白浜まででは「電車」が7pt、南紀白浜内では「路線バス」が4ptそれぞれ増加するなど、公共交通機関の利用率が増加

■交通手段（南紀白浜まで）（全体／複数回答）

Q6. 居住地から南紀白浜までの移動手段を教えてください。

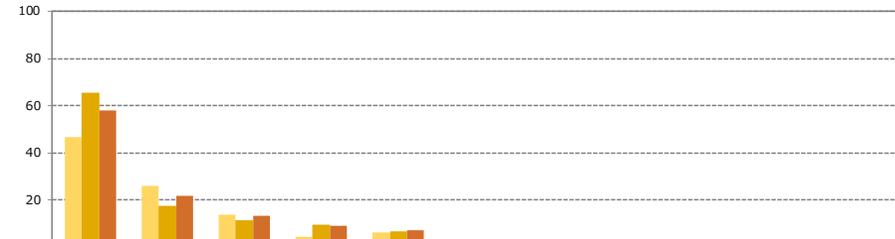


南紀白浜2022年度 全体	(n=1445)	48.0	32.5	13.6	2.8	2.1	1.3	0.2	0.1	0.3	—	—
南紀白浜2023年度 全体	(n=1499)	67.4	19.6	12.9	7.4	3.5	2.5	2.1	0.4	0.4	0.2	—
南紀白浜2024年度 全体	(n=1066)	60.1	26.4	15.0	8.1	3.7	1.8	1.8	0.7	0.6	0.2	—
2024-2023年度差		▲ 7.2	6.7	2.1	0.7	0.2	▲ 0.7	▲ 0.3	0.3	0.2	▲ 0.0	0.0

※「2024年度 全体」降順ソート

■交通手段（南紀白浜内）（全体／複数回答）

Q7. 南紀白浜内での移動手段を教えてください。



南紀白浜2022年度 全体	(n=1445)	46.9	26.1	13.8	4.7	6.2	2.7	—	1.3	0.9	0.1	0.1
南紀白浜2023年度 全体	(n=1499)	65.6	17.7	11.5	9.6	7.0	3.5	2.8	1.1	0.9	0.1	0.2
南紀白浜2024年度 全体	(n=1066)	57.8	21.7	13.4	9.4	7.5	3.4	2.4	1.4	0.7	0.2	0.1
2023-2022年度差		▲ 7.9	4.0	1.9	▲ 0.2	0.5	▲ 0.1	▲ 0.4	0.3	▲ 0.3	0.1	▲ 0.1

※「2024年度 全体」降順ソート

▶南紀白浜まで

■南紀白浜まで

－【日帰り客】の交通手段は「マイカー」（68%）が最も高く、宿泊客の59%と比べて高い

－居住地別にみると、県内居住者の90%は「マイカー」で来訪。首都圏からの来訪者は7割以上が飛行機で来訪

▶南紀白浜内

－【日帰り客】の交通手段は「マイカー」（65%）が最も高く、宿泊客の57%と比べて高い

－居住地別にみると、首都圏からの来訪者は「路線バス」（40%）が最も高く、次いで「レンタカー」（38%）が4割前後と高い。また、2割の方が「タクシー」を利用している

■南紀白浜内

		調査数	マイカー	電車	飛行機	レンタカー	高速バス	貸切・観光バス	タクシー	自転車	フェリー	バイク	無回答
南紀白浜2024年度 全体		(n=1066)	60.1	26.4	15.0	8.1	3.7	1.8	1.8	0.7	0.6	0.2	—
総合満足度別 大変満足		(n=503)	61.6	24.7	17.1	8.7	3.6	1.2	1.0	0.4	0.6	—	—
性年代別	男性	(n=350)	66.0	22.9	13.1	8.3	3.1	1.7	2.0	0.9	1.1	0.6	—
	女性	(n=710)	57.3	28.2	15.8	8.0	3.8	1.8	1.7	0.6	0.3	—	—
	30代以下	(n=244)	58.2	27.5	16.0	11.9	1.6	1.6	3.3	0.8	—	—	—
	40～50代	(n=541)	61.2	25.7	16.1	7.2	3.9	1.1	0.7	0.7	0.7	0.2	—
	60代以上	(n=281)	59.8	26.7	12.1	6.4	5.0	3.2	2.5	0.4	0.7	0.4	—
居住地別	和歌山県内	(n=113)	90.3	7.1	—	2.7	—	—	—	—	—	—	0.9
	和歌山県外・計	(n=953)	56.6	28.6	16.8	8.7	4.1	2.0	2.0	0.7	0.6	0.1	—
	大阪府	(n=326)	68.1	23.3	—	3.1	4.3	1.8	0.6	0.6	—	0.3	—
	首都圏	(n=164)	15.9	37.8	70.7	20.1	3.7	1.2	6.7	0.6	0.6	—	—
旅行同行者別	中学生以下の子供を含む家族	(n=237)	75.9	16.0	10.5	8.4	1.3	0.4	3.8	—	—	—	—
	高校生以上の子供を含む家族	(n=188)	58.5	27.1	15.4	9.0	2.1	0.5	1.1	—	1.1	0.5	—
	夫婦・カップル	(n=408)	66.4	20.6	12.3	8.1	2.2	3.4	1.2	—	0.5	—	—
	友人・知人	(n= 84)	42.9	33.3	22.6	11.9	6.0	1.2	1.2	—	—	—	—
	ひとり	(n=131)	29.0	54.2	26.0	4.6	13.7	1.5	1.5	3.8	1.5	0.8	—
	その他	(n= 18)	33.3	50.0	16.7	—	—	—	—	11.1	—	—	—
来訪回数別	初めて	(n=288)	40.6	36.5	31.3	16.0	3.5	1.7	3.8	1.0	0.7	—	—
	リピーター	(n=778)	67.4	22.6	9.0	5.1	3.7	1.8	1.0	0.5	0.5	0.3	—
来訪時期別	夏季	(n=594)	61.8	25.4	14.0	9.6	4.0	0.8	2.5	0.7	0.5	0.2	—
	秋季	(n=351)	56.7	28.8	17.7	7.1	2.8	2.6	0.6	0.6	0.9	0.3	—
	冬季	(n=121)	62.0	24.0	12.4	3.3	4.1	4.1	1.7	0.8	—	—	—
滞在期間別	日帰り	(n=124)	67.7	29.8	8.1	2.4	0.8	—	—	0.8	0.8	0.8	—
	宿泊	(n=942)	59.1	25.9	15.9	8.8	4.0	2.0	2.0	0.6	0.5	0.1	—

※「2023年度 全体」降順ソート

		調査数	マイカー	路線バス	レンタカー	徒歩	タクシー	送迎バス	電車	レンタサイクル	貸切・観光バス	バイク	ご自身の自転車	無回答
南紀白浜2024年度 全体		(n=1066)	57.8	21.7	13.4	9.4	7.5	3.4	2.4	1.4	0.7	0.2	0.1	—
総合満足度別 大変満足		(n=503)	58.4	20.9	14.5	8.9	7.0	3.6	3.0	0.6	0.4	—	—	—
性年代別	男性	(n=350)	63.7	16.3	13.4	10.0	4.0	3.7	2.3	0.9	0.6	0.6	0.3	—
	女性	(n=710)	54.9	24.2	13.5	8.9	9.3	3.1	2.5	1.5	0.7	—	—	—
	30代以下	(n=244)	55.7	21.3	14.3	11.9	7.4	2.0	4.1	2.0	0.4	—	—	—
	40～50代	(n=541)	58.8	23.8	12.9	9.6	7.0	3.5	1.3	1.7	0.4	0.2	—	—
	60代以上	(n=281)	57.7	17.8	13.5	6.8	8.5	4.3	3.2	0.4	1.4	0.4	0.4	—
居住地別	和歌山県内	(n=113)	88.5	4.4	3.5	2.7	0.9	0.9	0.9	—	—	0.9	—	—
	和歌山県外・計	(n=953)	54.1	23.7	14.6	10.2	8.3	3.7	2.6	1.5	0.7	0.1	0.1	—
	大阪府	(n=326)	67.8	21.2	3.7	9.2	4.9	2.8	1.8	1.2	0.9	0.3	0.3	—
	首都圏	(n=164)	12.2	40.2	38.4	11.6	20.7	4.3	3.7	2.4	0.6	—	—	—
旅行同行者別	中学生以下の子供を含む家族	(n=237)	73.4	11.4	12.2	7.6	7.6	1.7	2.5	—	0.4	—	—	—
	高校生以上の子供を含む家族	(n=188)	55.9	22.3	17.6	9.6	12.8	4.8	1.1	1.1	—	0.5	—	—
	夫婦・カップル	(n=408)	64.5	15.2	13.0	6.9	3.9	2.2	1.2	0.7	1.5	—	—	—
	友人・知人	(n= 84)	40.5	32.1	19.0	9.5	9.5	1.2	3.6	4.8	—	—	—	—
	ひとり	(n=131)	26.0	51.9	7.6	19.1	9.2	9.9	6.1	3.8	—	0.8	0.8	—
	その他	(n= 18)	33.3	27.8	11.1	16.7	11.1	—	11.1	5.6	—	—	—	—
来訪回数別	初めて	(n=288)	36.5	29.5	27.1	12.5	10.1	2.1	3.8	3.1	0.3	—	—	—
	リピーター	(n=778)	65.7	18.8	8.4	8.2	6.6	3.9	1.9	0.8	0.8	0.3	0.1	—
来訪時期別	夏季	(n=594)	58.9	19.5	14.5	8.9	7.2	3.2	3.4	1.2	0.3	0.2	0.2	—
	秋季	(n=351)	55.0	25.4	13.7	8.8	8.3	2.6	1.4	2.3	0.9	0.3	—	—
	冬季	(n=121)	60.3	21.5	7.4	13.2	6.6	6.6	0.8	—	1.7	—	—	—
滞在期間別	日帰り	(n=124)	64.5	24.2	6.5	4.8	4.8	2.4	3.2	—	—	0.8	—	—
	宿泊	(n=942)	56.9	21.3	14.3	10.0	7.9	3.5	2.3	1.6	0.7	0.1	0.1	—

※「2023年度 全体」降順ソート

▶南紀白浜の前に他に立ち寄った割合は42%。立ち寄り場所は「田辺市」が最も高く14%。僅差で「和歌山市」（13%）が続く

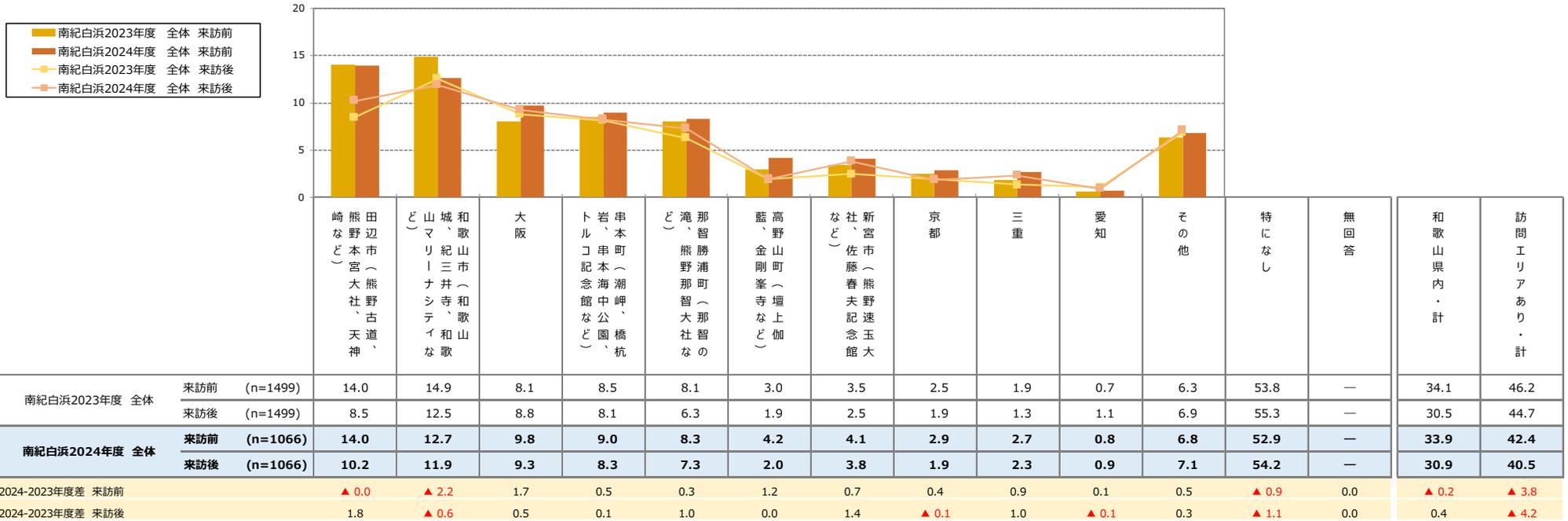
▶南紀白浜の後に他に立ち寄った割合は41%。立ち寄り場所は「和歌山市」が最も高く12%。次いで「田辺市」（10%）が続く

-2023年度と比べて、個別の立ち寄り場所に大きな変化はないものの、「訪問エリアがあり・計」では、来訪前後ともに4pt減少 = 目的地が南紀白浜であることがわかる

■南紀白浜来訪前後の立ち寄り場所（全体/複数回答）

(%)

Q13. 南紀白浜の前に立ち寄った観光地をすべて教えてください。



※「2024年度 全体【来訪前】降順ソート」

- 【日帰り客】が南紀白浜の前に他に立ち寄った割合は48%と半数近い。立ち寄り場所は「田辺市」（25%）が最も高い
 - 居住地別にみると、県内居住者では「田辺市」（35%）がやや突出して最も高い。首都圏からの来訪者では「那智勝浦町」（15%）が最も高く、「田辺市」（13%）が続くが、立ち寄り場所がない方が6割と高い
 - 同行者別にみると、友人・知人では「和歌山市」「串本町」「那智勝浦町」、ひとり旅では「大阪」がそれぞれ1割以上で高い。一方、子供連れ家族・ひとり旅では、立ち寄り場所がない方が6割前後と高い

■来訪前

		調査数	田辺市（熊野古道、熊野本宮大社、天神崎など）	和歌山市（和歌山城、紀三井寺、和歌山マリーナシティなど）	大阪	串本町（潮岬、橋杭岩、串本海中公園、トルコ記念館など）	那智勝浦町（那智の滝、熊野那智大社など）	高野山町（壇上伽藍、金剛峯寺など）	新宮市（熊野速玉大社、佐藤春夫記念館など）	京都	三重	愛知	その他	特になし	無回答	和歌山県内・計	訪問エリアあり・計
南紀白浜2024年度 全体		(n=1066)	14.0	12.7	9.8	9.0	8.3	4.2	4.1	2.9	2.7	0.8	6.8	52.9	—	33.9	42.4
総合満足度別	大変満足	(n=503)	13.9	12.1	10.7	8.7	7.6	4.2	3.0	3.0	3.0	1.0	6.2	53.3	—	33.2	42.5
性年代別	男性	(n=350)	14.6	16.0	8.6	8.0	7.7	5.4	4.6	2.0	1.4	0.6	5.1	51.1	—	37.4	44.6
	女性	(n=710)	13.8	11.1	10.3	9.6	8.7	3.7	3.9	3.4	3.4	0.8	7.7	53.5	—	32.4	41.5
	30代以下	(n=244)	11.5	20.1	11.1	6.1	5.3	3.3	2.0	5.3	2.9	0.8	5.7	52.5	—	35.7	44.3
	40~50代	(n=541)	14.8	9.2	7.4	9.6	8.3	2.6	5.9	1.7	2.4	0.4	7.9	55.8	—	32.5	39.0
60代以上	(n=281)	14.6	12.8	13.2	10.3	11.0	8.2	2.5	3.2	3.2	1.4	5.7	47.7	—	34.9	47.3	
居住地別	和歌山県内	(n=113)	35.4	8.0	0.9	12.4	4.4	3.5	4.4	0.9	0.9	—	7.1	43.4	—	48.7	49.6
	和歌山県外・計	(n=953)	11.4	13.2	10.8	8.6	8.8	4.3	4.1	3.1	2.9	0.8	6.8	54.0	—	32.1	41.6
	大阪府	(n=326)	12.0	13.2	5.5	7.7	4.3	1.5	2.8	1.5	1.2	0.3	4.6	61.7	—	30.1	34.4
	首都圏	(n=164)	13.4	2.4	8.5	10.4	14.6	6.1	7.9	2.4	4.9	1.8	9.1	59.1	—	26.8	36.0
旅行同行者別	中学生以下の子供を含む家族	(n=237)	8.4	10.5	7.2	5.9	3.8	1.3	1.7	2.5	3.4	0.8	6.8	64.1	—	23.6	31.6
	高校生以上の子供を含む家族	(n=188)	16.5	12.8	8.0	5.9	5.9	2.7	3.2	2.1	1.6	—	4.8	58.5	—	31.4	37.8
	夫婦・カップル	(n=408)	14.2	15.0	9.8	11.8	6.4	5.6	2.0	3.4	0.5	0.5	8.3	43.4	—	42.2	50.7
	友人・知人	(n= 84)	16.7	17.9	6.0	15.5	14.3	9.5	7.1	3.6	2.4	2.4	7.1	48.8	—	39.3	46.4
	ひとり	(n=131)	16.0	6.9	18.3	6.1	6.9	2.3	3.8	7.6	1.5	1.5	4.6	58.8	—	26.0	38.9
	その他	(n= 18)	27.8	5.6	16.7	11.1	—	—	—	—	—	—	—	11.1	38.9	—	38.9
来訪回数別	初めて	(n=288)	9.4	12.8	11.8	8.0	12.8	4.5	4.2	4.2	3.5	1.0	9.4	53.1	—	31.6	42.4
	リピーター	(n=778)	15.7	12.6	9.0	9.4	6.7	4.1	4.1	2.4	2.4	0.6	5.9	52.8	—	34.7	42.4
来訪時期別	夏季	(n=594)	14.5	13.6	9.3	8.6	8.8	5.6	4.7	3.4	3.0	0.8	7.2	51.5	—	35.2	43.8
	秋季	(n=351)	12.3	10.8	10.8	7.7	7.1	2.6	3.1	2.0	2.3	0.9	6.6	56.1	—	29.9	39.0
	冬季	(n=121)	16.5	13.2	9.1	14.9	9.9	2.5	4.1	3.3	2.5	—	5.8	50.4	—	38.8	45.5
滞在期間別	日帰り	(n=124)	25.0	8.9	7.3	17.7	9.7	5.6	3.2	4.0	1.6	0.8	7.3	46.0	—	44.4	48.4
	宿泊	(n=942)	12.5	13.2	10.1	7.9	8.2	4.0	4.2	2.8	2.9	0.7	6.8	53.8	—	32.5	41.6

※「2024年度 全体」降順ソート

- 【日帰り客】は「田辺市」が16%で宿泊客と比べて高い。

- 居住地別にみると、県内居住者では「田辺市」（20%）が最も高い。首都圏からの来訪者では「田辺市」「那智勝浦町」（ともに15%）が最も高く、「和歌山市」が他と比べて低い

- 同行者別にみると、ひとり旅は「大阪」が16%で他と比べて高い。また、子供を含む家族では立ち寄り場所がない方が6割を超えて高い

- 来訪回数別でみると、初めての来訪者は「那智勝浦町」が13%とリピーターと比べて高い

■来訪後

		調査数	和歌山市（和歌山城、紀三井寺、和歌山マリーナシティなど）	田辺市（熊野古道、熊野本宮大社、天神崎など）	大阪	串本町（潮岬、橋杭岩、串本海中公園、トルコ記念館など）	那智勝浦町（那智の滝、熊野那智大社など）	新宮市（熊野速玉大社、佐藤春夫記念館など）	三重	高野山町（壇上伽藍、金剛峯寺など）	京都	愛知	その他	特になし	無回答	和歌山県内・計	訪問エリアあり・計
南紀白浜2024年度 全体		(n=1066)	11.9	10.2	9.3	8.3	7.3	3.8	2.3	2.0	1.9	0.9	7.1	54.2	—	30.9	40.5
総合満足度別		大変満足 (n=503)	11.7	10.7	8.7	8.7	8.3	4.0	2.4	1.0	1.6	1.0	7.0	53.5	—	32.4	41.7
性年代別	男性	(n=350)	13.7	12.9	9.1	10.0	9.4	4.3	2.3	2.6	1.7	1.7	5.7	54.0	—	34.6	42.3
	女性	(n=710)	11.0	8.9	9.4	7.5	6.3	3.7	2.4	1.7	2.0	0.6	7.9	54.2	—	29.0	39.7
	30代以下	(n=244)	14.3	9.4	11.1	6.6	6.1	2.9	2.5	0.8	2.5	1.2	6.6	50.8	—	32.4	44.7
	40~50代	(n=541)	9.8	8.7	7.8	7.0	6.3	3.7	2.6	1.8	1.7	0.9	6.7	58.8	—	28.1	36.4
	60代以上	(n=281)	13.9	13.9	10.7	12.1	10.3	5.0	1.8	3.2	1.8	0.7	8.5	48.4	—	34.9	44.8
居住地別	和歌山県内	(n=113)	8.8	20.4	3.5	4.4	3.5	2.7	0.9	0.9	1.8	0.9	3.5	58.4	—	34.5	38.1
	和歌山県外・計	(n=953)	12.3	9.0	10.0	8.7	7.8	4.0	2.5	2.1	1.9	0.9	7.6	53.7	—	30.4	40.8
	大阪府	(n=326)	17.2	8.6	4.9	6.1	3.4	0.9	0.6	1.2	0.6	—	6.7	59.5	—	31.0	35.0
	首都圏	(n=164)	3.0	14.6	7.9	9.8	14.6	7.9	2.4	3.0	2.4	2.4	8.5	57.3	—	26.8	36.6
旅行同行者別	中学生以下の子供を含む家族	(n=237)	13.1	5.9	6.8	5.1	5.1	2.1	3.0	0.8	0.4	0.8	7.6	59.5	—	26.2	34.6
	高校生以上の子供を含む家族	(n=188)	9.0	9.0	4.8	5.9	6.9	1.6	1.6	1.1	1.1	0.5	3.7	63.3	—	27.1	33.5
	夫婦・カップル	(n=408)	14.2	13.0	9.6	10.8	8.3	4.9	2.5	3.4	2.2	1.0	9.6	46.8	—	36.8	46.1
	友人・知人	(n= 84)	11.9	13.1	13.1	9.5	9.5	7.1	1.2	—	1.2	—	4.8	50.0	—	33.3	46.4
	ひとり	(n=131)	7.6	9.9	16.0	8.4	8.4	4.6	3.1	2.3	5.3	2.3	5.3	57.3	—	25.2	39.7
	その他	(n= 18)	5.6	5.6	16.7	11.1	—	5.6	—	—	—	—	—	5.6	55.6	—	27.8
来訪回数別	初めて	(n=288)	9.0	8.3	10.4	11.8	12.5	6.6	3.8	3.8	2.8	1.7	8.3	53.5	—	29.5	41.0
	リピーター	(n=778)	13.0	10.9	8.9	6.9	5.4	2.8	1.8	1.3	1.5	0.6	6.7	54.5	—	31.4	40.4
来訪時期別	夏季	(n=594)	11.8	10.8	8.6	9.3	8.4	4.7	2.4	2.0	2.2	0.8	6.6	52.9	—	32.5	41.9
	秋季	(n=351)	11.7	10.3	8.8	8.3	6.6	3.1	2.3	2.0	1.7	0.9	8.0	56.7	—	28.5	37.3
	冬季	(n=121)	13.2	7.4	14.0	3.3	4.1	1.7	2.5	1.7	0.8	1.7	7.4	53.7	—	29.8	43.0
滞在期間別	日帰り	(n=124)	8.9	16.1	8.9	7.3	5.6	4.8	1.6	1.6	4.0	0.8	8.1	53.2	—	32.3	40.3
	宿泊	(n=942)	12.3	9.4	9.3	8.4	7.5	3.7	2.4	2.0	1.6	1.0	7.0	54.4	—	30.7	40.6

※「2024年度 全体」降順ソート

▶南紀白浜を選んだ際の情報源は「以前来訪した際の自身の経験」が51%と突出して最も高く、次いで「家族や友人知人からの紹介・推奨」「その他インターネットの情報」（ともに20%）が続く。

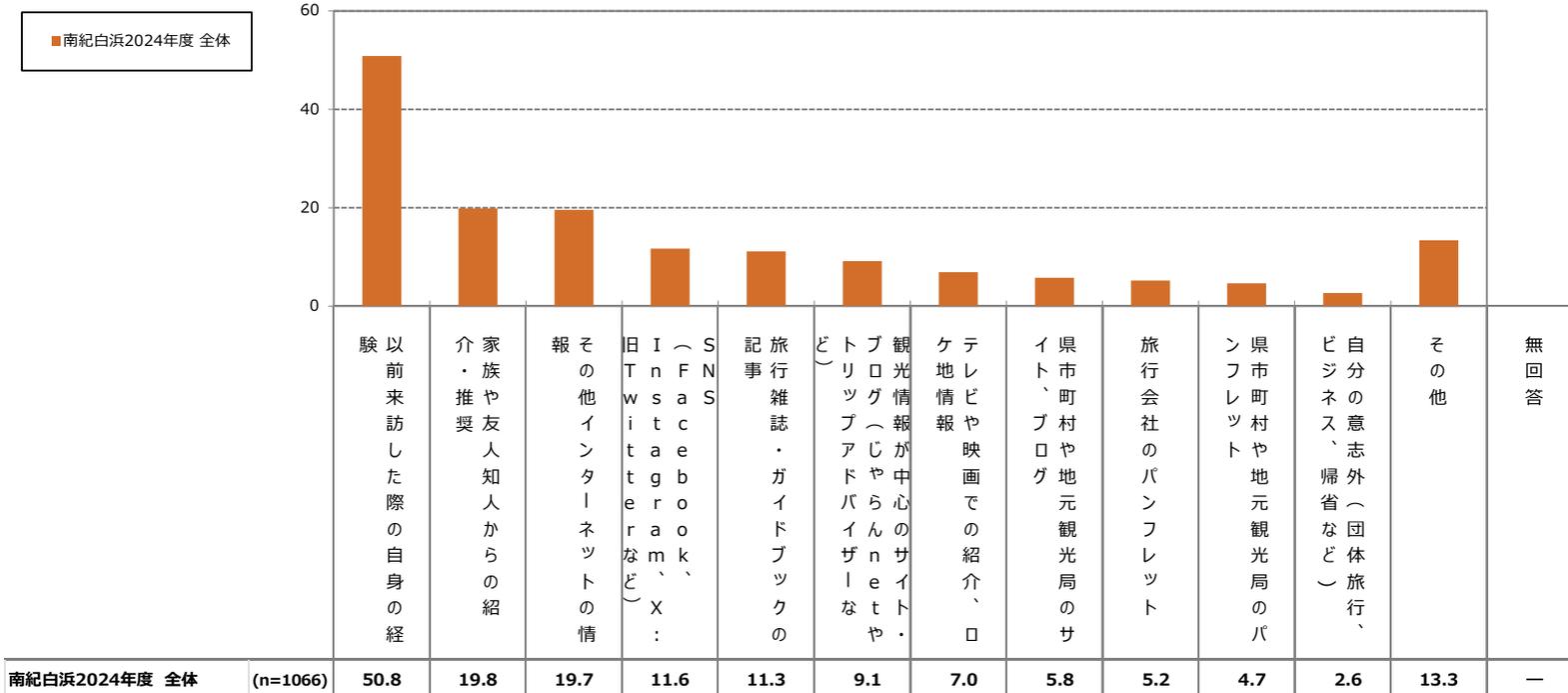
-新規設問のため2023年度との比較はなし

-その他の内訳としては、「パンダに会いたかった」「気に入った宿泊施設があるから」など情報源というよりは理由が主であった

■南紀白浜を選んだ際の情報（全体/複数回答）

(%)

Q11. 旅行先として南紀白浜を選んだ際の情報源は何ですか？



※「2024年度 全体」降順ソート

- 日帰り客は「以前来訪した際の自身の経験」が45%で最も高いが、宿泊客の52%と比べて低い。全般的に宿泊客と比べてスコアは低い、「県市町村や地元観光局のパンフレット」は13%で宿泊客と比べて10pt高い

-年代別でみると、30代以下は「家族や友人知人からの紹介・推奨」（28%）、「SNS（Facebook、Instagram、X：旧Twitterなど）」（18%）が他と比べて高い

-中学生以下の子供を含む家族は「家族や友人知人からの紹介・推奨」、友人・知人は「家族や友人知人からの紹介・推奨」「SNS（Facebook、Instagram、X：旧Twitterなど）」が他と比べて高い

-来訪回数別でみると、初めての来訪者は「家族や友人知人からの紹介・推奨」（30%）、「その他のインターネット情報」（26%）が高い

	調査数	以前来訪した際の自身の経験	家族や友人知人からの紹介・推奨	その他インターネットの情報	SNS (Facebook、Instagram、X：旧Twitterなど)	旅行雑誌・ガイドブックの記事	観光情報が中心のサイト・ブログ (じゃらんnetやトリップアドバイザーなど)	テレビや映画での紹介、ロケ地情報	県市町村や地元観光局のサイト、ブログ	旅行会社のパンフレット	県市町村や地元観光局のパンフレット	自分の意志外 (団体旅行、ビジネス、帰省など)	その他	無回答
南紀白浜2024年度 全体	(n=1066)	50.8	19.8	19.7	11.6	11.3	9.1	7.0	5.8	5.2	4.7	2.6	13.3	—
総合満足度別	(n=503)	54.3	19.7	17.9	13.7	11.3	8.5	8.0	6.2	5.0	4.2	1.8	12.1	—
性年代別	男性 (n=350)	52.0	14.9	24.0	8.9	14.9	11.4	6.6	6.9	5.4	5.7	2.9	11.1	—
	女性 (n=710)	50.4	22.1	17.7	13.0	9.6	8.0	7.3	5.4	5.1	4.2	2.5	14.4	—
	30代以下 (n=244)	45.9	27.9	17.2	18.4	8.2	8.6	5.7	4.9	2.9	1.2	3.7	9.8	—
	40~50代 (n=541)	53.6	15.9	21.1	12.6	11.8	9.8	6.8	7.0	5.0	5.5	2.6	15.7	—
60代以上 (n=281)	49.8	20.3	19.2	3.9	12.8	8.2	8.5	4.3	7.5	6.0	1.8	11.7	—	
居住地別	和歌山県内 (n=113)	55.8	24.8	10.6	12.4	6.2	7.1	3.5	8.8	1.8	10.6	3.5	8.8	—
	和歌山県外・計 (n=953)	50.3	19.2	20.8	11.5	11.9	9.3	7.5	5.5	5.6	4.0	2.5	13.9	—
	大阪府 (n=326)	59.2	16.9	16.9	9.2	9.8	9.5	5.8	5.5	6.1	4.6	3.1	13.2	—
	首都圏 (n=164)	35.4	25.6	24.4	11.0	12.8	11.0	11.0	4.9	3.7	3.7	2.4	18.3	—
旅行同行者別	中学生以下の子供を含む家族 (n=237)	52.3	28.3	19.0	13.1	11.0	7.2	8.9	5.5	4.2	3.4	3.0	7.2	—
	高校生以上の子供を含む家族 (n=188)	52.7	21.8	13.3	6.4	6.9	8.0	3.7	2.7	2.1	3.7	2.1	17.6	—
	夫婦・カップル (n=408)	52.0	15.2	22.5	11.3	13.2	10.8	7.6	6.9	7.1	4.9	2.0	11.5	—
	友人・知人 (n=84)	45.2	29.8	17.9	17.9	11.9	13.1	7.1	4.8	3.6	4.8	—	15.5	—
	ひとり (n=131)	48.1	10.7	23.7	13.7	11.5	6.9	6.9	9.2	3.8	8.4	4.6	22.1	—
	その他 (n=18)	33.3	11.1	11.1	11.1	11.1	5.6	5.6	—	22.2	—	16.7	16.7	—
来訪回数別	初めて (n=288)	10.8	29.9	26.4	13.5	15.3	10.1	11.8	4.9	4.5	3.5	3.1	17.7	—
	リピーター (n=778)	65.7	16.1	17.2	10.9	9.8	8.7	5.3	6.2	5.4	5.1	2.4	11.7	—
来訪時期別	夏季 (n=594)	51.5	22.4	20.4	12.0	11.3	8.9	6.2	5.6	6.1	4.9	2.4	10.6	—
	秋季 (n=351)	47.0	15.4	20.5	11.1	12.3	9.1	7.7	5.7	3.1	4.8	3.1	18.5	—
	冬季 (n=121)	58.7	19.8	14.0	11.6	8.3	9.9	9.1	7.4	6.6	3.3	2.5	11.6	—
滞在期間別	日帰り (n=124)	45.2	16.9	16.1	8.9	12.1	4.8	4.0	6.5	8.1	12.9	4.8	16.1	—
	宿泊 (n=942)	51.6	20.2	20.2	12.0	11.1	9.7	7.4	5.7	4.8	3.6	2.3	13.0	—

※「2024年度 全体」降順ソート

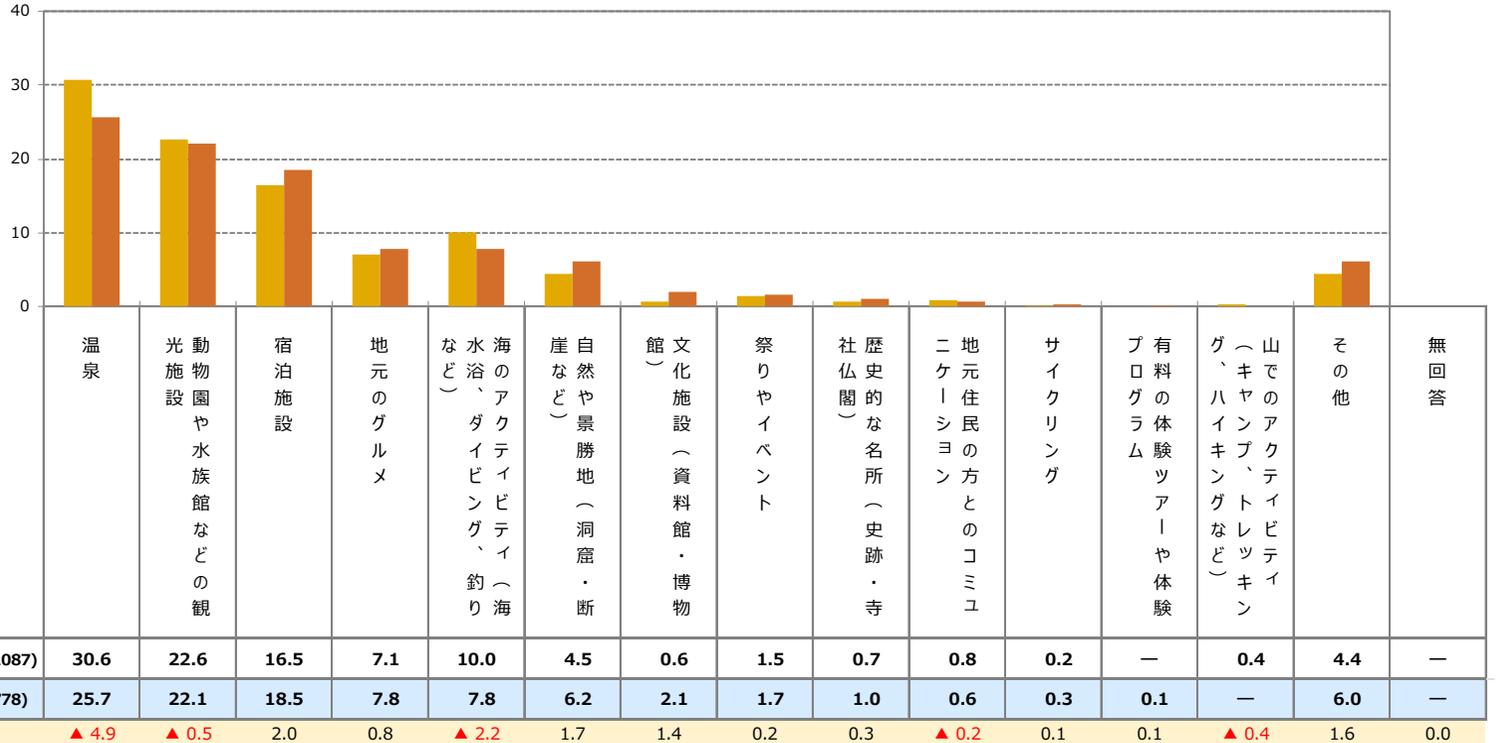
▶再訪の決め手は「温泉」が最も高く26%。次いで「動物園や水族館などの観光施設」(22%)「宿泊施設」(19%)が高い

-2023年と比べて全体的に大きな変化はないが、決め手トップの「温泉」は5pt減少

-その他の内訳は「パンダ」「サイコロ切符」「アドベンチャーワールド」「道の駅」など

■再訪の決め手 (リピーター/単一回答)

Q12. 再訪の決め手となったことを教えてください。



※「2024年度 全体」降順ソート

- 【日帰り客】の再訪の決め手は「地元のグルメ」が最も高い。宿泊客と比べて「自然や景勝地」（12%）「文化施設」（8%）が高い。
- 年代別にみると、30代以下では「海のアクティビティ」（17%）が他と比べて高い。60代以上では「温泉」が40%とやや突出して高い
- 居住地別にみると、首都圏からの来訪者では「動物園や水族館などの観光施設」（60%）が最も高く、6割の方で再訪の目的とさせている。大阪府・和歌山県内からの来訪者では「温泉」が他と比べて高い
- 同行者別にみると、中学生以下の子供連れの家族では「海のアクティビティ」の割合が2割と高い。ひとり旅では「動物園や水族館などの観光施設」が3割以上と高い
- 来訪時期別にみると、夏季では「海でのアクティビティ」（14%）が他と比べて高い

		調査数	温泉	動物園や水族館などの観光施設	宿泊施設	地元のグルメ	海のアクティビティ（海水浴、ダイビング、釣りなど）	自然や景勝地（洞窟・断崖など）	文化施設（資料館・博物館）	祭りやイベント	歴史的な名所（史跡・寺社・仏閣）	地元住民の方とのコミュニケーション	サイクリング	有料の体験ツアーや体験プログラム	山でのアクティビティ（キャンプ、トレッキング、ハイキングなど）	その他	無回答
南紀白浜2024年度 全体		(n=778)	25.7	22.1	18.5	7.8	7.8	6.2	2.1	1.7	1.0	0.6	0.3	0.1	—	6.0	—
総合満足度別		(n=364)	23.6	25.0	18.4	6.3	10.7	6.0	1.4	1.4	1.4	1.1	—	—	—	4.7	—
性年代別	男性	(n=253)	29.2	16.2	19.8	7.1	8.7	6.7	1.2	1.6	1.6	—	0.8	—	—	7.1	—
	女性	(n=520)	24.2	25.2	17.5	8.1	7.5	6.0	2.5	1.7	0.8	0.8	—	0.2	—	5.6	—
	30代以下	(n=156)	14.7	25.0	16.0	6.4	16.7	10.3	0.6	3.2	0.6	1.9	—	—	—	4.5	—
	40~50代	(n=412)	22.8	24.3	18.0	8.5	7.3	5.3	2.7	1.2	1.0	0.5	0.2	0.2	—	8.0	—
	60代以上	(n=210)	39.5	15.7	21.4	7.6	2.4	4.8	1.9	1.4	1.4	—	0.5	—	—	3.3	—
居住地別	和歌山県内	(n=110)	34.5	8.2	12.7	13.6	2.7	7.3	4.5	5.5	0.9	2.7	0.9	0.9	—	5.5	—
	和歌山県外・計	(n=668)	24.3	24.4	19.5	6.9	8.7	6.0	1.6	1.0	1.0	0.3	0.1	—	—	6.1	—
	大阪府	(n=281)	32.0	14.9	21.0	6.4	11.0	4.6	1.4	2.1	1.8	0.4	0.4	—	—	3.9	—
	首都圏	(n= 79)	1.3	59.5	8.9	2.5	5.1	7.6	—	—	—	1.3	—	—	—	13.9	—
旅行同行者別	中学生以下の子供を含む家族	(n=168)	17.3	25.0	23.8	3.6	20.2	3.0	1.8	1.2	—	1.2	—	—	—	3.0	—
	高校生以上の子供を含む家族	(n=133)	24.1	22.6	21.1	8.3	6.8	7.5	2.3	1.5	0.8	—	—	—	—	5.3	—
	夫婦・カップル	(n=302)	32.1	14.9	19.5	9.9	5.6	6.6	1.0	1.7	1.3	0.3	—	—	—	7.0	—
	友人・知人	(n= 66)	24.2	27.3	15.2	10.6	1.5	4.5	—	4.5	3.0	1.5	—	—	—	7.6	—
	ひとり	(n= 96)	25.0	36.5	3.1	5.2	—	8.3	7.3	1.0	1.0	1.0	2.1	1.0	—	8.3	—
	その他	(n= 13)	15.4	15.4	30.8	15.4	—	15.4	—	—	—	—	—	—	—	7.7	—
来訪回数別	初めて	(n= 0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	リピーター	(n= 778)	25.7	22.1	18.5	7.8	7.8	6.2	2.1	1.7	1.0	0.6	0.3	0.1	—	6.0	—
来訪時期別	夏季	(n=429)	23.5	19.6	15.9	7.0	13.8	7.5	3.3	1.9	1.2	0.5	0.5	0.2	—	5.4	—
	秋季	(n=247)	25.5	27.1	20.2	8.9	0.8	5.3	0.4	2.0	0.8	1.2	—	—	—	7.7	—
	冬季	(n=102)	35.3	20.6	25.5	8.8	—	2.9	1.0	—	1.0	—	—	—	—	4.9	—
滞在期間別	日帰り	(n=104)	13.5	22.1	1.0	19.2	1.9	11.5	7.7	5.8	1.9	2.9	1.0	1.0	—	10.6	—
	宿泊	(n=674)	27.6	22.1	21.2	6.1	8.8	5.3	1.2	1.0	0.9	0.3	0.1	—	—	5.3	—

※「2024年度 全体」降順ソート



03

体験と評価

- 体験内容
- 体験した内容への満足度

▶ 体験内容は「温泉」(82%)が最も高く、来訪者のほとんどが体験している。次いで「地元の名産品や郷土料理」(61%)「動物園や水族館などの観光施設」(55%)が高く、半数以上が体験。

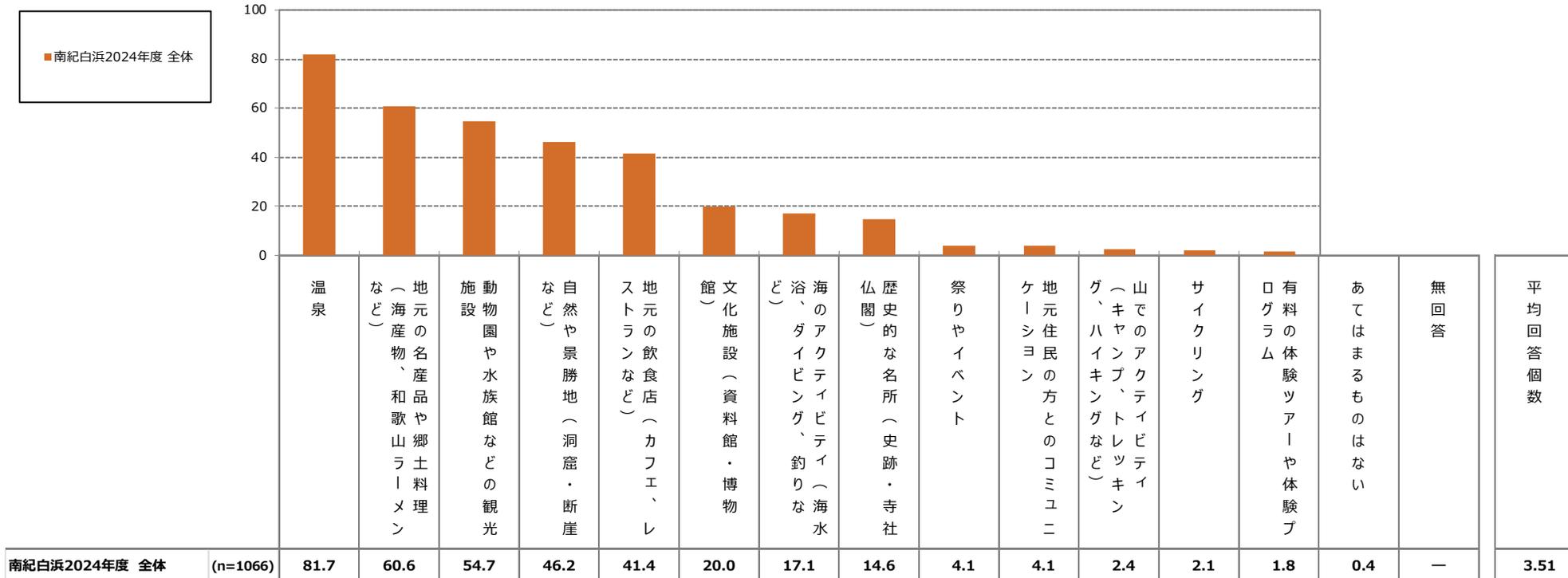
▶ 平均回答個数(平均体験個数)は1人あたり約3.51種類

— 選択肢変更のため2023年度との比較はなし

■ 体験内容 (全体/複数回答)

(%)

Q16. 旅行中に南紀白浜で体験したことをお選びください。



※「2024年度 全体」降順ソート

- 【日帰り客】の体験内容は「地元の飲食店」「地元の名産品や郷土料理」（ともに44%）の“グルメ”関連が最も高く、次いで「動物園や水族館などの観光施設」（38%）、「自然や景勝地」（37%）が高い

- 属性別にみると、「動物園や水族館などの観光施設」の体験率が高い属性が複数ある。該当属性を以下に列挙

- » 年代：30代以下
- » 居住地：首都圏
- » 同行者：中学生以下の子供を含む家族
- » 来訪回数：初めて

- その他の特徴

- 年代別にみると、60代以上の9割が「温泉」に入っている
- 同行者別にみると、中学生以下の子供を含む家族では「海のアクティビティ」が他と比べて高い。また、夫婦・カップルでは「歴史的な名所」が他と比べて高い
- 来訪回数別にみると、初めての来訪者で「自然や景勝地」「動物園や水族館などの観光施設」がリピーターと比べて高い

		調査数	温泉	地元の名産品 や郷土料理 (海産物、和 歌山ラーメンな ど)	動物園や水族 館などの観光 施設	自然や景勝地 (洞窟・断崖 など)	地元の飲食店 (カフェ、レスト ランなど)	文化施設 (資 料館・博物 館)	海のアクティ ビティ (海水浴、 ダイビング、釣り など)	歴史的な名所 (史跡・寺社 仏閣)	祭りやイベント	地元住民の方 とのコミュニケー ション	山でのアクティ ビティ (キャン プ、トレッキ ング、ハイキング など)	サイクリング	有料の体験ツ アーや体験プロ グラム	あてはまるもの はない	無回答	平均回答個数
南紀白浜2024年度 全体		(n=1066)	81.7	60.6	54.7	46.2	41.4	20.0	17.1	14.6	4.1	4.1	2.4	2.1	1.8	0.4	—	3.51
総合満足度別		(n=503)	83.5	66.0	59.0	48.3	45.7	17.5	22.7	17.5	5.4	5.0	2.6	1.2	1.8	0.2	—	3.76
性年代別	男性	(n=350)	77.4	54.9	50.3	45.4	38.3	20.9	14.0	15.1	3.7	2.3	2.6	1.7	1.1	0.6	—	3.28
	女性	(n=710)	84.1	63.5	57.2	46.9	43.0	19.6	18.7	14.4	4.4	4.9	2.4	2.3	2.1	0.3	—	3.63
	30代以下	(n=244)	80.7	68.0	63.9	38.5	45.5	12.3	28.7	12.7	5.3	4.9	1.6	1.6	2.0	0.4	—	3.66
	40~50代	(n=541)	78.0	62.3	55.1	45.8	41.4	19.8	15.9	12.6	3.5	4.1	2.8	3.0	1.7	0.2	—	3.46
	60代以上	(n=281)	89.7	50.9	45.9	53.7	37.7	27.0	9.3	20.3	4.3	3.6	2.5	0.7	1.8	0.7	—	3.47
居住地別	和歌山県内	(n=113)	70.8	38.9	31.9	36.3	46.0	15.0	7.1	10.6	7.1	3.5	3.5	3.5	1.8	0.9	—	2.76
	和歌山県外・計	(n=953)	83.0	63.2	57.4	47.4	40.8	20.6	18.3	15.1	3.8	4.2	2.3	1.9	1.8	0.3	—	3.60
	大阪府	(n=326)	82.5	62.0	48.5	40.5	44.5	17.8	22.7	12.9	5.2	3.7	2.1	1.8	0.3	0.3	—	3.44
	首都圏	(n=164)	82.9	64.0	77.4	54.9	42.1	24.4	17.7	19.5	3.7	5.5	1.8	3.0	2.4	—	—	3.99
旅行同行者別	中学生以下の子供を含む家族	(n=237)	85.7	70.5	73.4	38.4	39.2	14.8	38.0	6.3	5.9	3.4	1.7	0.4	3.0	—	—	3.81
	高校生以上の子供を含む家族	(n=188)	87.2	59.6	52.7	51.6	41.5	22.3	11.2	13.8	1.1	2.7	2.1	1.6	0.5	—	—	3.48
	夫婦・カップル	(n=408)	80.6	62.7	47.8	49.0	42.4	19.4	13.2	20.6	3.4	4.2	2.9	1.7	1.7	0.7	—	3.50
	友人・知人	(n= 84)	75.0	50.0	46.4	45.2	45.2	23.8	7.1	10.7	3.6	4.8	2.4	3.6	1.2	—	—	3.19
	ひとり	(n=131)	74.0	44.3	51.1	48.1	36.6	27.5	7.6	13.0	8.4	6.9	3.1	6.1	2.3	0.8	—	3.29
その他	(n= 18)	83.3	61.1	50.0	22.2	61.1	5.6	5.6	27.8	—	5.6	—	—	—	—	—	—	3.22
来訪回数別	初めて	(n=288)	82.6	67.4	66.3	61.5	40.3	29.5	14.9	19.8	2.1	4.2	1.4	2.8	1.0	—	—	3.94
	リピーター	(n=778)	81.4	58.1	50.4	40.6	41.8	16.5	17.9	12.7	4.9	4.1	2.8	1.8	2.1	0.5	—	3.35
来訪時期別	夏季	(n=594)	80.0	58.8	56.2	43.8	42.8	25.8	26.8	15.0	5.1	3.7	3.0	2.2	2.0	—	—	3.65
	秋季	(n=351)	82.6	63.5	56.4	51.3	41.0	13.7	5.1	15.7	4.0	4.8	2.0	2.0	2.0	0.6	—	3.44
	冬季	(n=121)	87.6	61.2	42.1	43.8	35.5	9.9	4.1	9.9	—	4.1	0.8	1.7	—	1.7	—	3.01
滞在期間別	日帰り	(n=124)	29.0	43.5	37.9	37.1	44.4	25.0	4.0	15.3	4.8	4.8	3.2	4.0	3.2	1.6	—	2.56
	宿泊	(n=942)	88.6	62.8	56.9	47.5	41.0	19.3	18.8	14.5	4.0	4.0	2.3	1.8	1.6	0.2	—	3.63

※「2024年度 全体」降順ソート

▶「大変満足」の割合が最も高い体験は「動物園や水族館などの観光施設」で66%、次いで「海のアクティビティ」「祭りやイベント」（ともに59%）、「温泉」（56%）が上位

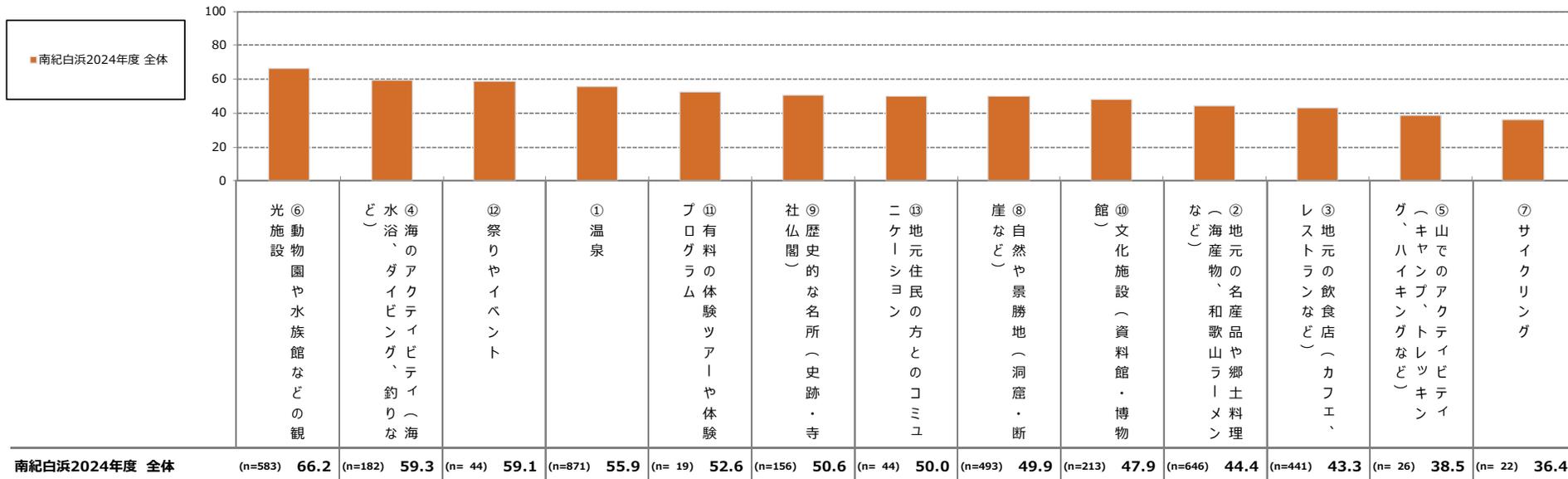
▶半数の体験で5割以上の方が「大変満足」と回答しているが、「地元の名産品や郷土料理」（44%）「地元の飲食店」（43%）の“グルメ”関連の満足度は相対的に低い

※「有料の体験ツアーや体験プログラム」「山でのアクティビティ」「サイクリング」は体験人数が30人に満たないため、分析の対象外とする

■ 体験したことの評価TopBox「大変満足」の割合（体験者／各単一回答）

(%)

Q17. 体験したことの評価をお選びください。



※「2024年度 全体」降順ソート

- 【日帰り客】での体験の満足度は「歴史的な名所」「動物園や水族館などの観光施設」が最も高く68%。

- 年代別にみると、30代以下で満足度が高い項目が多く、60代以下で満足度が低い項目が多い

- 満足度が相対的に低い「地元の名産品や郷土料理」「地元の飲食店」についてを属性別にみると、30代以下では5割以上が「大変満足」と回答しているが、年代が上がるにつれて満足度は低くなり、60代では3割台に止まる

- 来訪回数別にみると、多くの体験で初めて・リピーターでの満足度に差がない

- 初めての来訪者は相対的に満足度が高くなる傾向がみられる

■体験したことの評価TopBox「大変満足」の割合 (体験者/各単一回答)

Q17. 体験したことの評価をお選びください。

(%)

	⑥ 動物園や水族館など	④ 海のアクティビティ	⑫ 祭りやイベント	① 温泉	⑪ 有料の体験ツアーやラム	⑨ 歴史的な名所(史跡・寺社仏閣)	⑬ 地元住民の方とのコミュニケーション	⑧ 自然や景勝地(洞窟・断崖など)	⑩ 文化施設(資料館・博物館)	② 地元の名産品や郷土料理(海産物など)	③ 地元の飲食店(カフェ)	⑤ 地元のアート、ライブ、イベント	⑦ サイクリング
南紀白浜2024年度 全体	(n=583) 66.2	(n=182) 59.3	(n= 44) 59.1	(n=871) 55.9	(n= 19) 52.6	(n=156) 50.6	(n= 44) 50.0	(n=493) 49.9	(n=213) 47.9	(n=646) 44.4	(n=441) 43.3	(n= 26) 38.5	(n= 22) 36.4
総合満足度別 大変満足	(n=297) 87.2	(n=114) 75.4	(n= 27) 85.2	(n=420) 83.6	(n= 9) 88.9	(n= 88) 77.3	(n= 25) 68.0	(n=243) 74.9	(n= 88) 73.9	(n=332) 69.0	(n=230) 65.2	(n= 13) 69.2	(n= 6) 83.3
性年代別	男性 (n=176) 60.2	(n= 49) 59.2	(n= 13) 69.2	(n=271) 48.7	(n= 4) 50.0	(n= 53) 47.2	(n= 8) 62.5	(n=159) 44.0	(n= 73) 39.7	(n=192) 40.1	(n=134) 41.8	(n= 9) 33.3	(n= 6) 50.0
	女性 (n=406) 69.0	(n=133) 59.4	(n= 31) 54.8	(n=597) 59.5	(n= 15) 53.3	(n=102) 52.9	(n= 35) 48.6	(n=333) 52.9	(n=139) 52.5	(n=451) 46.6	(n=305) 44.3	(n= 17) 41.2	(n= 16) 31.3
	30代以下 (n=156) 74.4	(n= 70) 70.0	(n= 13) 69.2	(n=197) 63.5	(n= 5) 40.0	(n= 31) 74.2	(n= 12) 58.3	(n= 94) 62.8	(n= 30) 56.7	(n=166) 56.0	(n=111) 55.9	(n= 4) 50.0	(n= 4) 50.0
	40~50代 (n=298) 66.1	(n= 86) 53.5	(n= 19) 68.4	(n=422) 56.9	(n= 9) 66.7	(n= 68) 54.4	(n= 22) 54.5	(n=248) 51.6	(n=107) 47.7	(n=337) 43.9	(n=224) 42.0	(n= 15) 40.0	(n= 16) 37.5
60代以上 (n=129) 56.6	(n= 26) 50.0	(n= 12) 33.3	(n=252) 48.4	(n= 5) 40.0	(n= 57) 33.3	(n= 10) 30.0	(n=151) 39.1	(n= 76) 44.7	(n=143) 32.2	(n=106) 33.0	(n= 7) 28.6	(n= 2) —	
居住地別	和歌山県内 (n= 36) 63.9	(n= 8) 75.0	(n= 8) 62.5	(n= 80) 66.3	(n= 2) —	(n= 12) 58.3	(n= 4) 75.0	(n= 41) 41.5	(n= 17) 70.6	(n= 44) 52.3	(n= 52) 42.3	(n= 4) 50.0	(n= 4) 75.0
	和歌山県外・計 (n=547) 66.4	(n=174) 58.6	(n= 36) 58.3	(n=791) 54.9	(n= 17) 58.8	(n=144) 50.0	(n= 40) 47.5	(n=452) 50.7	(n=196) 45.9	(n=602) 43.9	(n=389) 43.4	(n= 22) 36.4	(n= 18) 27.8
	大阪府 (n=158) 56.3	(n= 74) 47.3	(n= 17) 64.7	(n=269) 55.4	(n= 1) 100.0	(n= 42) 57.1	(n= 12) 25.0	(n=132) 51.5	(n= 58) 32.8	(n=202) 43.1	(n=145) 41.4	(n= 7) 57.1	(n= 6) 50.0
首都圏 (n=127) 66.9	(n= 29) 55.2	(n= 6) 50.0	(n=136) 51.5	(n= 4) 100.0	(n= 32) 56.3	(n= 9) 44.4	(n= 90) 50.0	(n= 40) 37.5	(n=105) 36.2	(n= 69) 44.9	(n= 3) 33.3	(n= 5) 20.0	
旅行同行者別	中学生以下の子供を含む家族 (n=174) 67.8	(n= 90) 60.0	(n= 14) 64.3	(n=203) 53.2	(n= 7) 57.1	(n= 15) 60.0	(n= 8) 50.0	(n= 91) 52.7	(n= 35) 42.9	(n=167) 40.1	(n= 93) 44.1	(n= 4) 50.0	(n= 1) —
	高校生以上の子供を含む家族 (n= 99) 60.6	(n= 21) 47.6	(n= 2) 50.0	(n=164) 59.1	(n= 1) —	(n= 26) 57.7	(n= 5) 40.0	(n= 97) 44.3	(n= 42) 47.6	(n=112) 47.3	(n= 78) 44.9	(n= 4) 25.0	(n= 3) 42.9
	夫婦・カップル (n=195) 61.5	(n= 54) 63.0	(n= 14) 71.4	(n=329) 56.2	(n= 7) 85.7	(n= 84) 47.6	(n= 17) 64.7	(n=200) 52.0	(n= 79) 46.8	(n=256) 47.7	(n=173) 44.5	(n= 12) 41.7	(n= 7) 42.9
	友人・知人 (n= 39) 79.5	(n= 6) 83.3	(n= 3) 100.0	(n= 63) 52.4	(n= 1) —	(n= 9) 33.3	(n= 4) 25.0	(n= 38) 57.9	(n= 20) 45.0	(n= 42) 42.9	(n= 38) 42.1	(n= 2) 50.0	(n= 3) 66.7
	ひとり (n= 67) 73.1	(n= 10) 40.0	(n= 11) 27.3	(n= 97) 55.7	(n= 3) —	(n= 17) 47.1	(n= 9) 44.4	(n= 63) 41.3	(n= 36) 55.6	(n= 58) 34.5	(n= 48) 35.4	(n= 4) 25.0	(n= 8) 37.5
その他 (n= 9) 88.9	(n= 1) 100.0	(n= 0) —	(n= 15) 66.7	(n= 0) —	(n= 5) 80.0	(n= 1) —	(n= 4) 75.0	(n= 1) 100.0	(n= 11) 63.6	(n= 11) 45.5	(n= 0) —	(n= 0) —	
来訪回数別	初めて (n=191) 68.6	(n= 43) 58.1	(n= 6) 66.7	(n=238) 49.6	(n= 3) 100.0	(n= 57) 52.6	(n= 12) 50.0	(n=177) 53.7	(n= 85) 48.2	(n=194) 42.8	(n=116) 43.1	(n= 4) 25.0	(n= 8) 50.0
	リピーター (n=392) 65.1	(n=139) 59.7	(n= 38) 57.9	(n=633) 58.3	(n= 16) 43.8	(n= 99) 49.5	(n= 32) 50.0	(n=316) 47.8	(n=128) 47.7	(n=452) 45.1	(n=325) 43.4	(n= 22) 40.9	(n= 14) 28.6
来訪時期別	夏季 (n=334) 67.1	(n=159) 59.7	(n= 30) 66.7	(n=475) 57.5	(n= 12) 50.0	(n= 89) 53.9	(n= 22) 45.5	(n=260) 52.7	(n=153) 52.3	(n=349) 46.4	(n=254) 43.3	(n= 18) 50.0	(n= 13) 38.5
	秋季 (n=198) 63.1	(n= 18) 55.6	(n= 14) 42.9	(n=290) 54.5	(n= 7) 57.1	(n= 55) 45.5	(n= 17) 52.9	(n=180) 45.0	(n= 48) 35.4	(n=223) 39.5	(n=144) 43.1	(n= 7) 14.3	(n= 7) 42.9
	冬季 (n= 51) 72.5	(n= 5) 60.0	(n= 0) —	(n=106) 52.8	(n= 0) —	(n= 12) 50.0	(n= 5) 60.0	(n= 53) 52.8	(n= 12) 41.7	(n= 74) 50.0	(n= 43) 44.2	(n= 1) —	(n= 2) —
滞在期間別	日帰り (n= 47) 68.1	(n= 5) 40.0	(n= 6) 66.7	(n= 36) 58.3	(n= 4) 50.0	(n= 19) 68.4	(n= 6) 66.7	(n= 46) 54.3	(n= 31) 64.5	(n= 54) 55.6	(n= 55) 49.1	(n= 4) 50.0	(n= 5) 60.0
	宿泊 (n=536) 66.0	(n=177) 59.9	(n= 38) 57.9	(n=835) 55.8	(n= 15) 53.3	(n=137) 48.2	(n= 38) 47.4	(n=447) 49.4	(n=182) 45.1	(n=592) 43.4	(n=386) 42.5	(n= 22) 36.4	(n= 17) 29.4

※[2024年度 全体]降順ソート

▶施設の評価では、「観光スポット」が最も高く、『大変満足』と回答した人は全体の44%。次いで「宿泊施設」が43%で高い

▶2023年度と比べて、「観光スポット」以外でスコアは減少しており、特に「宿泊施設」で5pt減少

-【日帰り客】では「宿泊施設」が評価対象外。それ以外の順位は全体と変わらない

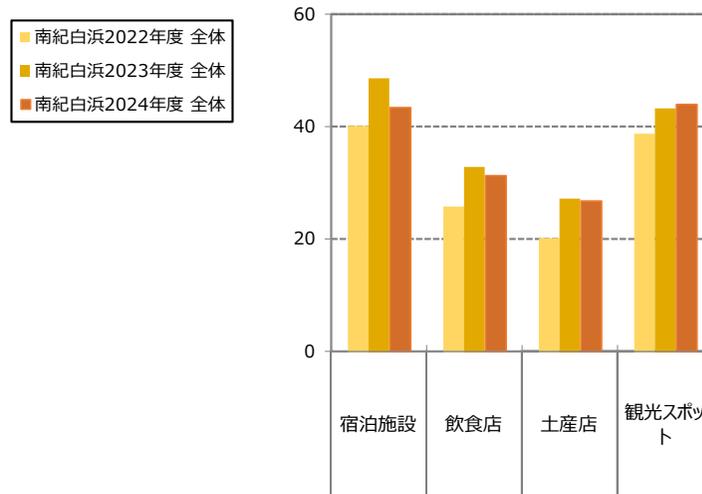
-年代別にみると、30代以下でいずれも評価が高く、他年代を大きく上回る。反対に60代以上でいずれの評価も低い

-居住地別にみると、県内居住者は「宿泊施設」「観光スポット」の評価が低い

-同行者別にみると、中学生以下の子供を含む家族では「観光スポット」、高校生以上の子供を含む家族では「宿泊施設」の評価が他と比べて高く、逆にひとり旅での評価は他と比べて低い

-来訪時期別でみると、「宿泊施設」で季節によって差がみられる。特に秋季来訪者と冬季来訪者で評価に差がある

■個別指標TopBox「大変満足」の割合 (全体/各単一回答) (%)



南紀白浜2022年度 全体	(n=1445)	40.1	25.7	20.1	38.8
南紀白浜2023年度 全体	(n=1499)	48.6	32.8	27.2	43.2
南紀白浜2024年度 全体	(n=1066)	43.4	31.2	26.9	44.1
2024-2023年度差		▲ 5.1	▲ 1.5	▲ 0.3	0.9

	調査数	宿泊施設	飲食店	土産店	観光スポット
南紀白浜2024年度 全体	(n=1066)	43.4	31.2	26.9	44.1
総合満足度別 大変満足	(n=503)	67.6	54.9	49.5	73.2
性年代別	男性 (n=350)	41.7	30.3	25.4	38.9
	女性 (n=710)	44.5	31.8	27.7	46.9
	30代以下 (n=244)	51.6	45.5	40.2	56.6
	40~50代 (n=541)	40.7	30.3	26.4	45.1
60代以上 (n=281)	41.6	20.6	16.4	31.3	
居住地別	和歌山県内 (n=113)	28.3	31.0	25.7	38.1
	和歌山県外・計 (n=953)	45.2	31.3	27.1	44.8
	大阪府 (n=326)	46.9	32.2	26.1	39.6
首都圏 (n=164)	40.2	26.8	23.2	47.6	
旅行同行者別	中学生以下の子供を含む家族 (n=237)	47.3	31.6	28.7	51.1
	高校生以上の子供を含む家族 (n=188)	49.5	31.4	27.1	42.0
	夫婦・カップル (n=408)	44.6	31.4	27.7	40.9
	友人・知人 (n=84)	32.1	32.1	26.2	39.3
	ひとり (n=131)	30.5	26.0	19.1	47.3
その他 (n=18)	50.0	55.6	44.4	44.4	
来訪回数別	初めて (n=288)	42.7	31.9	27.4	48.3
	リピーター (n=778)	43.7	31.0	26.7	42.5
来訪時期別	夏季 (n=594)	44.8	32.5	26.9	44.6
	秋季 (n=351)	37.6	27.9	27.1	44.4
	冬季 (n=121)	53.7	34.7	26.4	40.5
滞在期間別	日帰り (n=124)	—	34.7	29.0	47.6
	宿泊 (n=942)	49.2	30.8	26.6	43.6

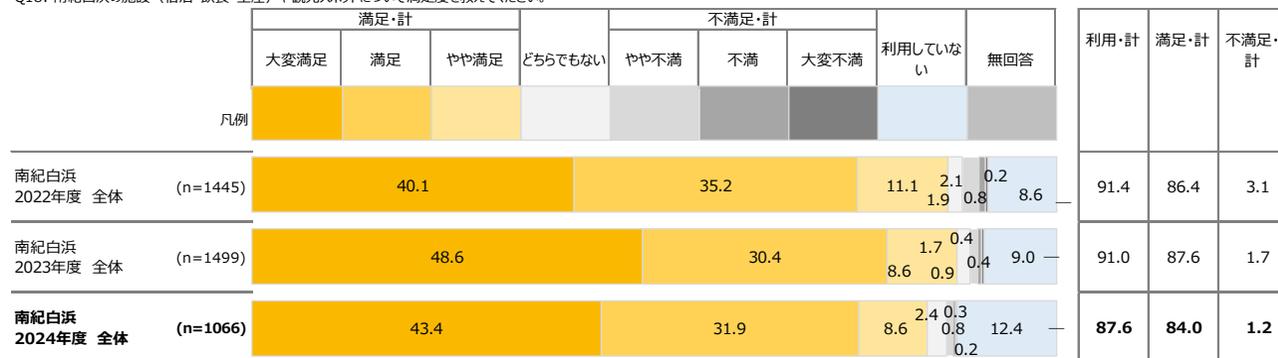
▶ 宿泊施設・飲食店の利用率は9割前後に上る。「満足・計」はいずれも8割以上と高い水準である

▶ 2023年度と比較すると、宿泊施設の利用率が3pt下降。宿泊施設は経年で下降傾向。「満足・計」もいずれも3~4pt下降

■ 宿泊・食事・体験評価（全体／各単一回答）：宿泊施設

(%)

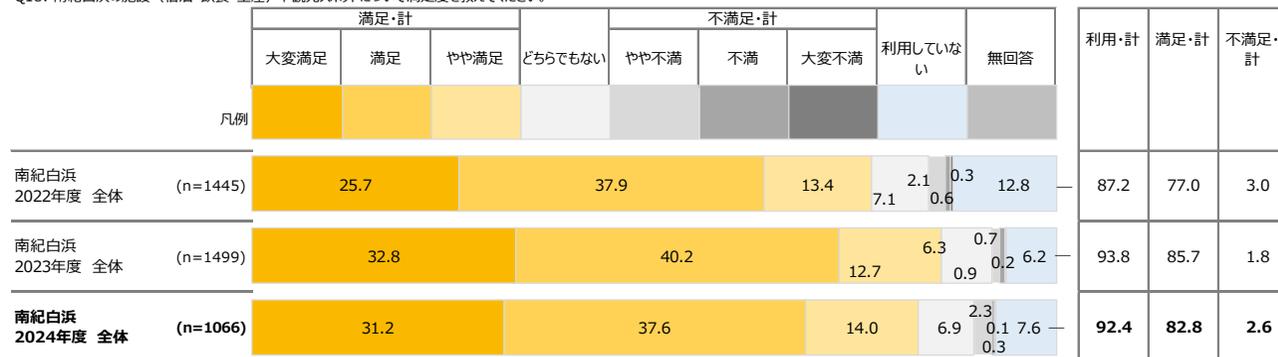
Q18. 南紀白浜の施設（宿泊・飲食・土産）や観光スポットについて満足度を教えてください。



■ 宿泊・食事・体験評価（全体／各単一回答）：飲食店

(%)

Q18. 南紀白浜の施設（宿泊・飲食・土産）や観光スポットについて満足度を教えてください。

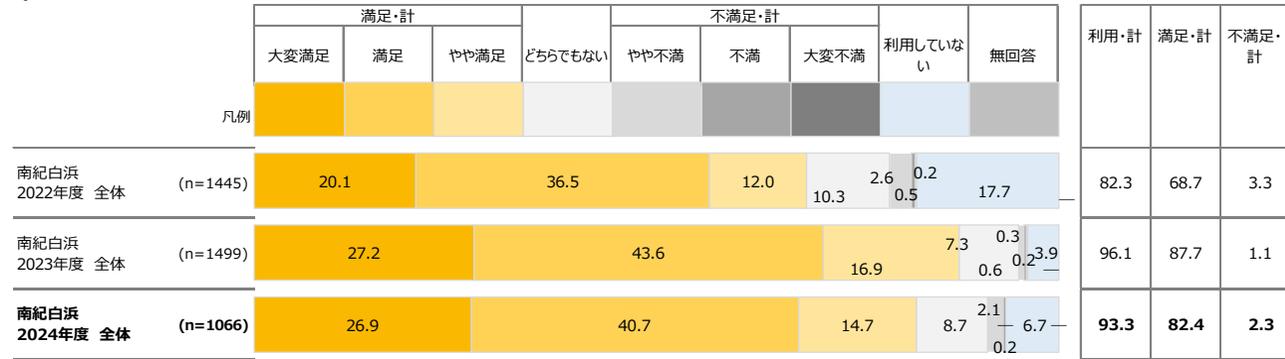


- ▶ 土産店・観光スポットの利用率は9割以上に上る。「満足・計」はいずれも8割以上と高い水準である
- ▶ 2023年度と比較すると、土産店の利用率は3pt下降、一方観光スポットは堅調だが経年比較では上昇傾向
- ▶ 「満足・計」は土産店は5pt下降、観光スポットは変化なし

■ 宿泊・食事・体験評価（全体／各単一回答）：土産店

(%)

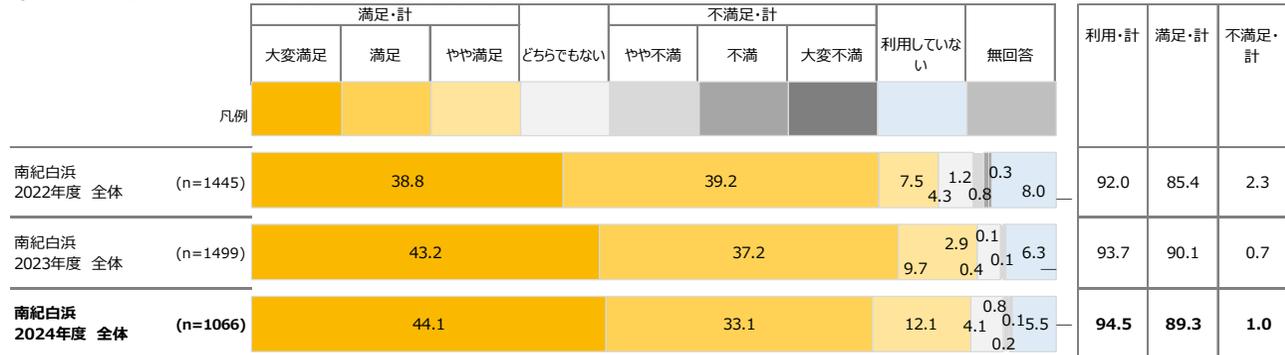
Q18. 南紀白浜の施設（宿泊・飲食・土産）や観光スポットについて満足度を教えてください。



■ 宿泊・食事・体験評価（全体／各単一回答）：観光スポット

(%)

Q18. 南紀白浜の施設（宿泊・飲食・土産）や観光スポットについて満足度を教えてください。



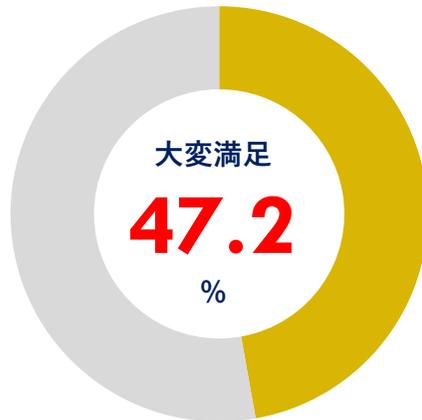


04

総合指標

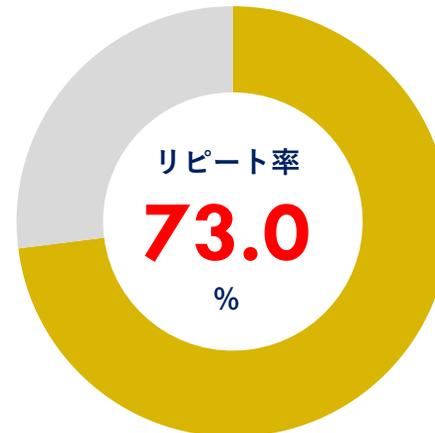
- 総合満足度
- 再来訪意向
- 消費金額
- 総合満足度との相関

【必須KPI①】総合満足度



昨年からの増減 **-5.8** pt

【必須KPI②】リピート率



昨年からの増減 **+0.5** pt

【必須KPI③】消費金額

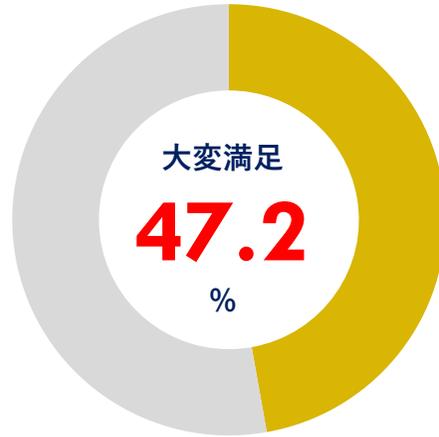
全体		昨年度からの増減	
総額（平均）	49,007 円	-2336 円	
交通費	11,030 円	+550 円	
宿泊費	24,386 円	-829 円	
飲食費	8,404 円	-449 円	
買い物費	6,838 円	-268 円	
その他（入場料など）	6,186 円	-1043 円	
▶ 日帰り		昨年度からの増減	
総額（平均）	17,065 円	-619 円	
交通費	6,241 円	+1609 円	
宿泊費	*	*	
飲食費	4,520 円	-717 円	
買い物費	4,905 円	+103 円	
その他（入場料など）	3,947 円	-2293 円	
▶ 宿泊		昨年度からの増減	
総額（平均）	53,124 円	-1161 円	
交通費	11,593 円	+620 円	
宿泊費	24,386 円	-829 円	
飲食費	8,884 円	-288 円	
買い物費	7,080 円	-204 円	
その他（入場料など）	6,451 円	-852 円	

※消費金額は「0円」/「不明」/「無回答」を除いた平均金額

※「総額」は記入されている内訳（交通費～その他）の合計値を代入して集計（内訳の項目が「0円」のものを含む）

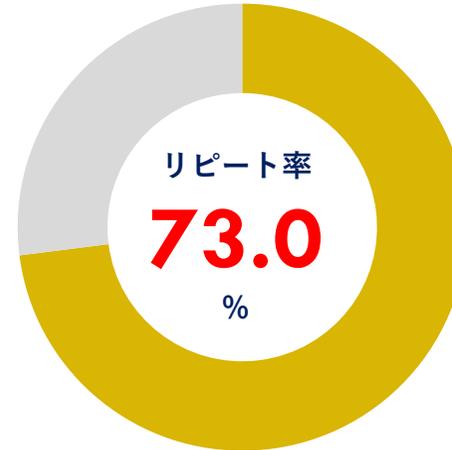
※「総額」は内訳（交通費～その他）いずれかの項目が「0円」の場合を含むため、上記の「内訳金額の合計」よりも「総額」の方が少ない金額になります

【必須KPI①】総合満足度



昨年からの増減 **-5.8** pt

【必須KPI②】リピート率



昨年からの増減 **+0.5** pt

【必須KPI③】消費金額

全体		昨年度からの増減	
総額（平均）	44,035 円	-1700 円	
交通費	11,030 円	+550 円	
宿泊費	24,386 円	-829 円	
飲食費	8,404 円	-449 円	
買い物費	6,838 円	-268 円	
▶日帰り			
		昨年度からの増減	
総額（平均）	14,191 円	+693 円	
交通費	6,241 円	+1609 円	
宿泊費	*	*	
飲食費	4,520 円	-717 円	
買い物費	4,905 円	+103 円	

▶宿泊		昨年度からの増減	
総額（平均）	47,854 円	-681 円	
交通費	11,593 円	+620 円	
宿泊費	24,386 円	-829 円	
飲食費	8,884 円	-288 円	
買い物費	7,080 円	-204 円	

※消費金額は「0円」/「不明」/「無回答」を除いた平均金額

※「総額」は記入されている内訳(交通費～その他)の合計値を代入して集計(内訳の項目が「0円」のものを含む)

※「総額」は内訳(交通費～その他)いずれかの項目が「0円」の場合を含むため、上記の「内訳金額の合計」よりも「総額」の方が少ない金額になります

▶総合指標は「再訪・紹介意向」が最も高く、『大変そう思う』と回答した人が全体の49%。次いで「総合満足度」(47%)が高く、いずれも4割以上が『大変そう思う』『大変満足』と回答した。一方で「交通快適度」は20%と2割に止まる

▶2023年度と比べて、いずれの指標も下降している。特に、「再訪・紹介意向」は9pt、「総合満足度」が6pt下降

-【日帰り客】の評価をみると、「交通快適度」(15%)が全体と比べて低い

-属性別にみると、【施設の評価】と同様に、30代以下で他より高い項目が多い。一方、友人・知人、ひとり旅では全体的に評価が低い

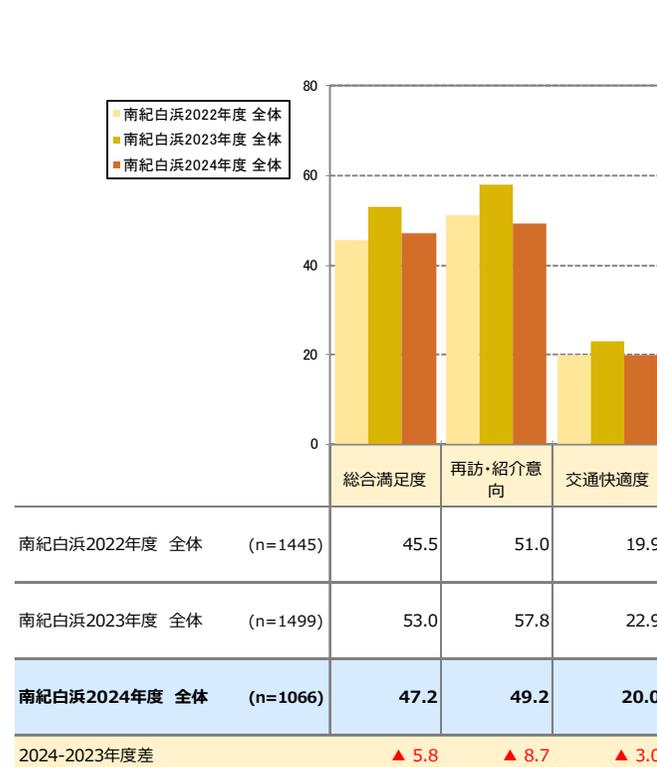
-来訪時期別にみると、「再訪・紹介意向」で冬季来訪者の評価が高く、秋季来訪者は低い

- 補足：「交通快適度」は他指標と比較して圧倒的に低いが、交通面は比較的不満が出やすい要素である

■総合指標【TopBox一覧】 (全体/単一回答)

(%)

(%)



	調査数	総合満足度	再訪・紹介意向	交通快適度
南紀白浜2024年度 全体	(n=1066)	47.2	49.2	20.0
総合満足度別 大変満足	(n=503)	100.0	85.1	37.6
性年代別	男性 (n=350)	43.4	42.3	15.7
	女性 (n=710)	49.4	52.8	22.3
	30代以下 (n=244)	58.6	58.6	29.9
	40~50代 (n=541)	48.1	50.6	17.9
居住エリア別	60代以上 (n=281)	35.6	38.1	15.3
	和歌山県内 (n=113)	41.6	49.6	16.8
	和歌山県外・計 (n=953)	47.8	49.1	20.4
	大阪府 (n=326)	46.6	48.5	22.1
旅行同行者別	首都圏 (n=164)	49.4	47.6	14.6
	中学生以下の子供を含む家族 (n=237)	54.0	55.3	22.8
	高校生以上の子供を含む家族 (n=188)	45.2	46.3	19.7
	夫婦・カップル (n=408)	48.8	48.3	19.4
	友人・知人 (n=84)	39.3	44.0	17.9
	ひとり (n=131)	36.6	46.6	16.8
来訪回数別	その他 (n=18)	55.6	61.1	33.3
	初めて (n=288)	48.3	46.2	20.1
来訪時期別	リピーター (n=778)	46.8	50.3	19.9
	夏季 (n=594)	48.3	51.9	20.9
	秋季 (n=351)	44.2	42.7	17.1
滞在時間別	冬季 (n=121)	50.4	54.5	24.0
	日帰り (n=124)	43.5	46.8	14.5
	宿泊 (n=942)	47.7	49.5	20.7

▶「総合満足度」「再訪・紹介意向」はほぼ全員が「やや満足～大変満足」「ややそう思う～大変そう思う」と回答している。交通快適度も8割が「ややそう思う～大変そう思う」と回答

▶2023年度と比べて、「満足・計」「そう思う・計」で大きな変化はない

■総合満足度 (全体/単一回答)

Q22. 南紀白浜全体の満足度を教えてください。

	満足・計			どちらでもない	不満足・計			無回答	満足・計 (%)	不満足・計 (%)
	大変満足	満足	やや満足		やや不満	不満	大変不満			
凡例										
南紀白浜 2022年度 全体 (n=1445)	45.5				44.6			6.9 2.3 0.6	97.0	0.7
南紀白浜 2023年度 全体 (n=1499)	53.0				38.0			1.4 0.1 7.1 0.4 0.1	98.0	0.6
南紀白浜 2024年度 全体 (n=1066)	47.2				40.2			9.8 2.3 0.4	97.2	0.6

■再訪・紹介意向 (全体/単一回答)

Q23. 自身の再来訪を含めて、家族や知人、友人に勧めたいか教えてください。

	そう思う・計			どちらでもない	そう思わない・計			無回答	そう思う・計 (%)	そう思わない・計 (%)
	大変そう思う	そう思う	ややそう思う		あまり思わない	そう思わない	全く思わない			
凡例										
南紀白浜 2022年度 全体 (n=1445)	51.0				36.9			8.1 0.1 3.0 0.6	96.0	1.0
南紀白浜 2023年度 全体 (n=1499)	57.8				31.7			1.8 7.9 0.6 0.2	97.4	0.8
南紀白浜 2024年度 全体 (n=1066)	49.2				37.1			9.8 3.2 0.1 0.5 0.8	96.0	0.8

■交通快適度 (全体/単一回答)

Q20. 南紀白浜内での移動や交通は快適でしたか。あてはまるものをお選びください。

	そう思う・計			どちらでもない	そう思わない・計			無回答	そう思う・計 (%)	そう思わない・計 (%)
	大変そう思う	そう思う	ややそう思う		あまり思わない	そう思わない	全く思わない			
凡例										
南紀白浜 2022年度 全体 (n=1445)	19.9	35.6			13.3	12.3	2.3 5.5 0.8 10.4	68.7	8.6	
南紀白浜 2023年度 全体 (n=1499)	22.9	42.4			14.9	10.9	1.2 7.1 0.5	80.3	8.8	
南紀白浜 2024年度 全体 (n=1066)	20.0	41.0			19.2	10.2	1.5 6.8 1.2	80.2	9.6	

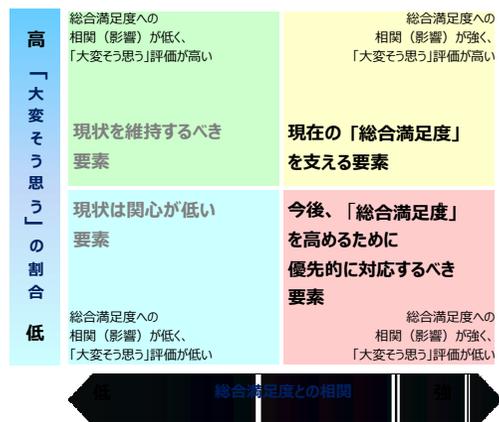
- 各評価項目の「高／低」水準と、各評価項目が来訪者の「総合満足度」に与える影響の「強／弱」水準を組み合わせ、
 - ① 当地域来訪者の現在の「総合満足度」を醸成する要素は何であるのか
 - ② 優先的に注力すべき要素はあるか、それは何であるか抽出を行なった。
- 各分析結果において【現在の「総合満足度」を支えている要素】 【今後、「総合満足度」を高めるために優先的に対応すべき要素】に“赤字”で記載されている項目は特に満足度との相関が高いことから、注目すべき項目とした。

分析方法

各評価項目のトップボックス（「大変そう思う」）のスコアを縦軸、「総合満足度」と各評価項目との影響の強さ（相関係数※詳細は下記参照）を横軸にとり、それぞれを散布図上にプロットすることにより満足度と各評価項目との関係構造を4つの象限に分類。

【現在の「総合満足度」を支える要素】、【「総合満足度」への影響が強いにも関わらず、現在は評価されていない要素】を抽出する。

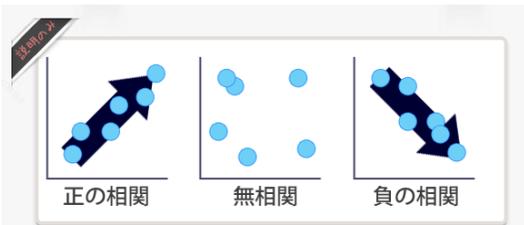
「総合満足度」構造【4象限】



構造の4象限分類は、縦軸：評価スコアと横軸：相関係数それぞれの平均値を交差する直線で区分する。

- **右上の象限【現在の「総合満足度」を支える要素】**
「大変そう思う」評価が高く、かつ「総合満足度」との相関が強い。
現在の「総合満足度」を支える来訪体験の要素。
- **右下の象限【今後、「相互満足度」を高めるために優先的に対応すべき要素】**
「総合満足度」との相関が強いにも関わらず、現在「大変そう思う」評価が低い。
この象限に当てはまる項目が、優先的に対応すべき改善検討課題であるといえる。
- **左上の象限【現状を維持するべき要素】**
現在「大変そう思う」評価は高いものの、「総合満足度」との相関が弱い。
極端な体験・サービス水準の低下を招かない維持が求められる。
- **左下の象限【現状は関心が低い要素】**
「総合満足度」との相関が低く、現在「大変そう思う」評価も低い。
優先的な対応は不要。しかし言い換えれば、現時点では存在を認知されていないため評価を得られていない要素。

※相関係数とは・・・2つの要因についてどれくらい関係が強いのか？というものを示す1つの数値データになります。
値的には-1～+1の値を取り、+1方向を「正の相関」、-1方向を「負の相関」、0を「相関がない」と表現します。算出の公式は以下。



1.0 ≥ R ≥ 0.7	: 高い相関がある
0.7 ≥ R ≥ 0.5	: かなり高い相関がある
0.5 ≥ R ≥ 0.4	: 中程度の相関がある
0.4 ≥ R ≥ 0.3	: ある程度の相関がある
0.3 ≥ R ≥ 0.2	: 弱い相関がある
0.2 ≥ R ≥ 0.0	: ほとんど相関がない

出典：「社会調査の基礎」放送大学テキスト

$$r = \frac{\sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})(y_i - \bar{y})}{\sqrt{\left\{ \sum_{i=1}^n (x_i - \bar{x})^2 \right\} \left\{ \sum_{i=1}^n (y_i - \bar{y})^2 \right\}}}$$

▶現在の総合満足度を支えている体験は「祭りやイベント」「温泉」「有料の体験ツアーや体験プログラム」「歴史的な名所」

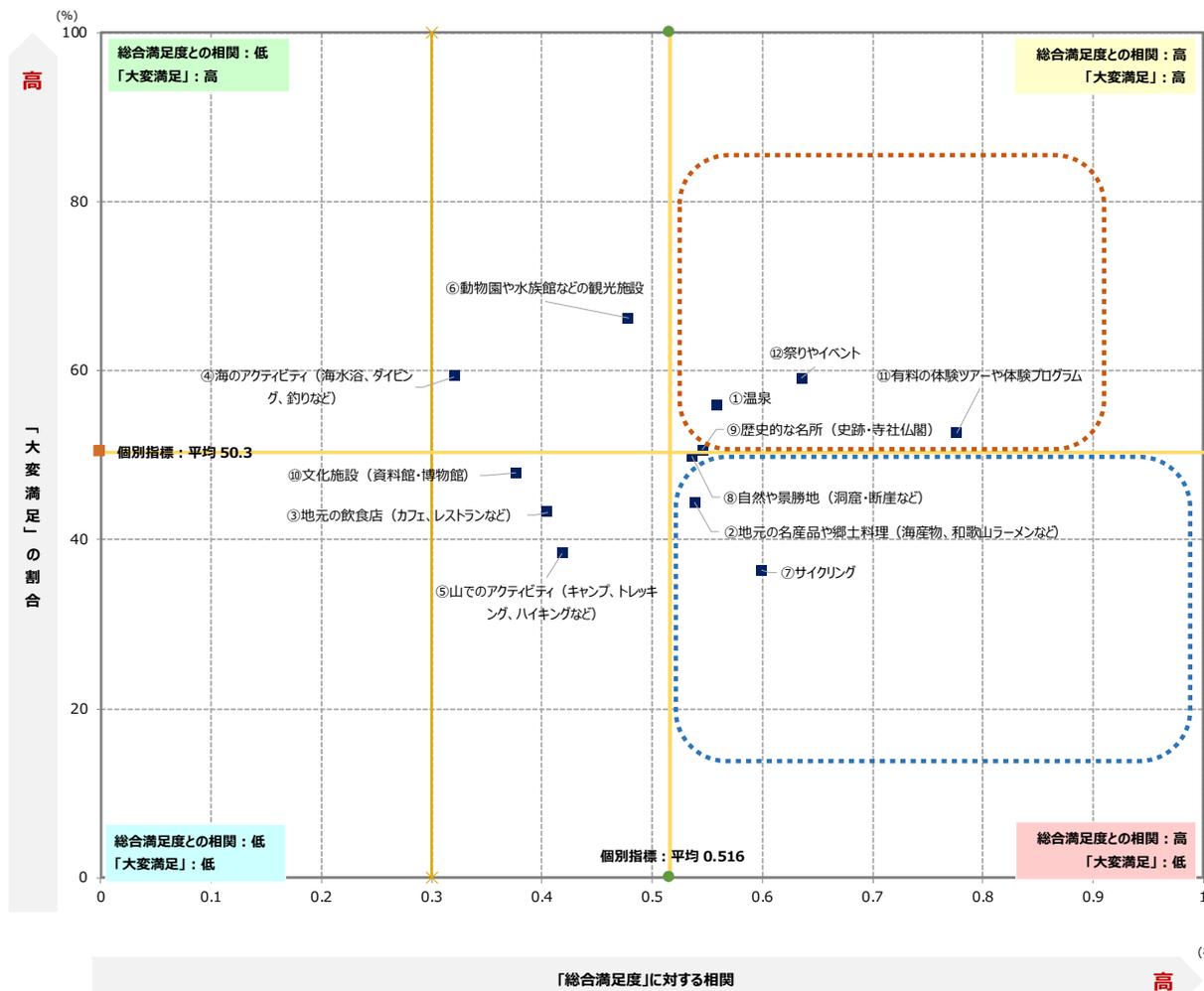
▶今後優先的に対応すべき体験は「自然や景勝地」「地元の名産品や郷土料理」

- 「サイクリング」は体験者が30人を下回るため分析の対象外

■「総合満足度」に対する相関（横軸）×個別指標TopBox「大変満足」の割合（縦軸）

2024年度 全体 (n=1066)

総合満足度「大変満足」		47.2%	
個別指標	横軸	縦軸	
	総合満足度との相関 r	TOP-BOX 「大変満足」 %	
①温泉	0.559	55.9	
②地元の名産品や郷土料理（海産物、和歌山ラーメンなど）	0.539	44.4	
③地元の飲食店（カフェ、レストランなど）	0.405	43.3	
④海のアクティビティ（海水浴、ダイビング、釣りなど）	0.321	59.3	
⑤山でのアクティビティ（キャンプ、トレッキング、ハイキングなど）	0.418	38.5	
⑥動物園や水族館などの観光施設	0.478	66.2	
⑦サイクリング	0.599	36.4	
⑧自然や景勝地（洞窟・断崖など）	0.537	49.9	
⑨歴史的な名所（史跡・寺社仏閣）	0.546	50.6	
⑩文化施設（資料館・博物館）	0.376	47.9	
⑪有料の体験ツアーや体験プログラム	0.776	52.6	
⑫祭りやイベント	0.635	59.1	
⑬地元住民の方とのコミュニケーション	0.419	50.0	
個別指標：平均		0.516	50.3



▶現在の総合満足度を支えている施設は「観光スポット」。

▶今後優先的に対応すべき施設は「飲食店」「土産店」

- 現在の評価項目では“施設の種類”でしか総合満足度との相関が見れなく、飲食店の「接客」を改善すればいいのかが「料理の質」を改善すればいいのかが分析することができない
- 来年以降、調査項目を「この地域ならではの食事を味わえた」「飲食店従業員の対応がよかった」など細分化していくことで、対応すべき事項が明確になる

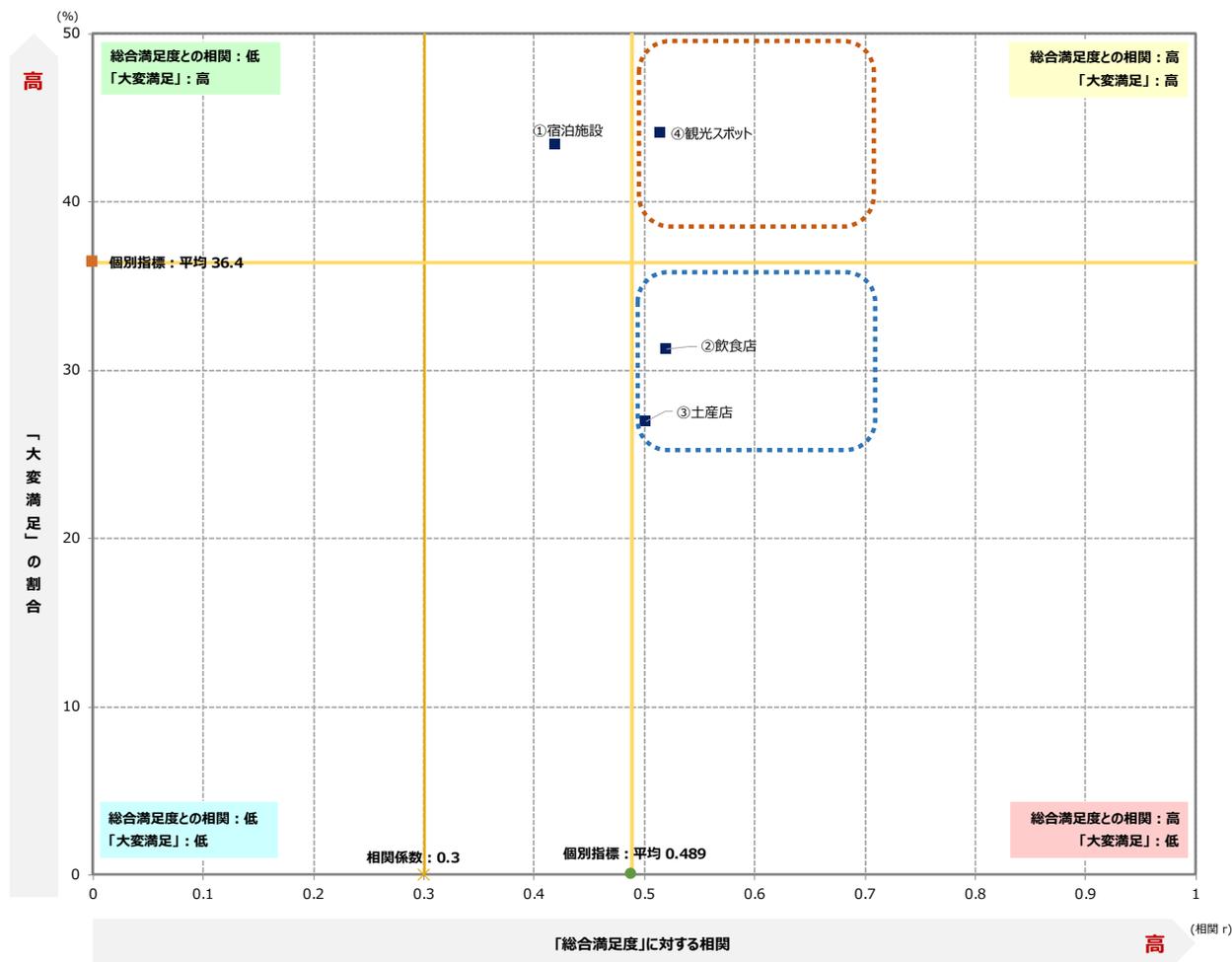
■「総合満足度」に対する相関（横軸）×個別指標TopBox「大変満足」の割合（縦軸）

2023年度 全体

(n=1066)

総合満足度「大変満足」 **47.2%**

個別指標	総合満足度「大変満足」	
	横軸 総合満足度 との相関 r	縦軸 TOP-BOX 「大変そう思う」 %
①宿泊施設	0.419	43.4
②飲食店	0.520	31.2
③土産店	0.501	26.9
④観光スポット	0.514	44.1
個別指標：平均	0.489	36.4



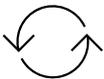
05

考察

- 調査結果より



▶ 主要KPI平均 (※アンド・ディ調べ) と比較すると、いずれの項目も平均より大きく上回っている

	宿泊旅行者			日帰り旅行者		
	総合満足度	消費額	リピート率	総合満足度	消費額	リピート率
						
	大変満足	消費金額	リピーター	大変満足	消費金額	リピーター
KPI平均2024	後日更新					
南紀白浜2024	49.5%	¥58,258	71.5%	46.8%	¥17,065	83.9%
南紀白浜エリア-KPI平均差分	後日更新					

▶ 「宿泊施設」「温泉」「景観」「食事」がリピート要素として大きく機能している。昔から来ているという馴染みのお客様も多く、「やっぱり行くんだったら白浜」という意識が根付いている点が大きな価値になっている。何度訪れても飽きない・年代を超えて楽しめる観光地であることが本地域の価値。

- リピーターにおいても体験数は新規来訪者と変わらず。かつ、体験内容も同様
 - 本来であれば、「飽き」につながる要素が“ゆっくり・のんびりできる”という安心感につながっているようだ。とれとれ市場をはじめアドベンチャーワールドなどへのリピートもみられる
- 30代以下における満足度と再来訪意向が高い
 - 将来、子どもを連れて、夫婦でなど年代を経てもリピートしていただける可能性が高い
- 居住地域が東海・近畿と近隣からのリピーターが占めていることから“競合”が少なそう
 - 馴染みのお客様の居住地が近隣ということもあり、「特別な旅行（例えば北海道・東京など）」とは別にルーティーン化しているような傾向が自由記述からも見られた。今後もそのポジションをどれだけ確保できるかがポイントになりそうである

▶ 来訪者属性の変化により、将来的に消費額の減少やリピーターの減少につながる可能性があるため、動向を見守ることが求められる

- 本年度の回答からは、来訪者属性に以下のような変化が見られた（グラフ参照）
- 来訪者の年代の高まりが加速しており、年代の上昇と同行者の変化は相関関係にあることから、年代が高まることで「夫婦での旅行」や「ひとり旅」が増加している。年代が高まった場合でも「3世代」での来訪が理想的ではあるが、現状ではその傾向は見られていない
- こうした変化に伴う懸念として、以下の点が挙げられる

- ① 来訪者数の減少により、消費額が減少する可能性がある
- ② 宿泊数の減少が想定される。
- ③ 南紀白浜の強みである「年代を問わず楽しめる観光地」という価値が低下し、ブランドイメージが薄れる可能性がある
- ④ 若年層の頃に体験した良い思い出はレポートにつながりやすいため、若年層の来訪が減ることでレポート率が低下する可能性がある



Q8 南紀白浜での滞在時間（宿泊者ベース）

		全体	1泊	2泊	3泊以上
全体		942	69.4	23.5	7.1
同行者別	中学生以下の子供を含む家族	223	65.0	26.9	8.1
	高校生以上の子供を含む家族	177	70.6	24.3	5.1
	夫婦・カップル	360	73.9	19.4	6.7
	友人・知人	70	72.9	22.9	4.3
	ひとり	96	55.2	32.3	12.5
	その他	16	87.5	6.3	6.3

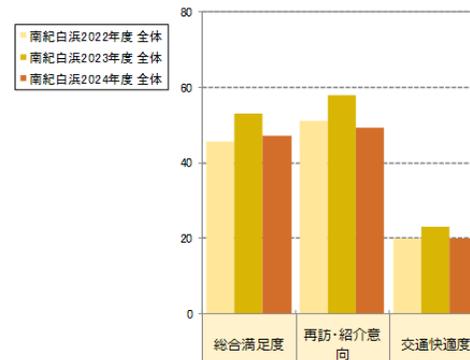
▶総合指標の2023年度に比べ本年度は低下し2022年度と同程度という変化は、南紀白浜エリアだけでみられる傾向ではない。ただし、総合指標の水準が高い「30代以下」の割合が減っていることは低下への影響が大きい。かつ、今後の誘客においても大きな検討ポイントとなる

- 他地域で実施されている来訪者調査や住民意識調査の結果（※弊社実績より）から、2021年～2023年にかけては、新型コロナウイルス感染拡大による行動制限の解除を背景に、旅行需要が急速に回復し、いわゆる「リベンジ消費」の動きが各地で見られた時期であった
- このため、旅行者の満足度や再来訪意向といった指標は、いずれの地域でも右肩上がりの推移を示していた。しかし、2024年においては複数地域の調査結果から、これらの指標が2022年度と同程度の水準まで戻る傾向が確認されている。この背景としては、以下のような要因が考えられる。これらの状況を踏まえると、2024年度はアフターコロナにおける旅行需要の高揚が一巡し、旅行者意識が落ち着きを見せたタイミングであったと推察される。各地域の調査結果に共通した傾向が見られることから、全国的な旅行者意識の転換期として捉えることができる可能性がある

- ① リベンジ消費の収束による旅行意欲の平常化
- ② 旅行機会の増加に伴う体験のマンネリ化
- ③ 観光地の混雑復活による旅行環境の悪化

- ただし、本地域の結果においては評価が高い「30代」以下の割合が減少していることの影響はありとされるため、「30代以下」「子供連れ家族」の誘客においては引き続き検討が必要と考える

■総合指標【TopBox一覧】（全体/単一回答） (%)



調査年度	調査数	総合満足度	再訪・紹介意向	交通快適度
南紀白浜2022年度 全体	(n=1445)	45.5	51.0	19.9
南紀白浜2023年度 全体	(n=1499)	53.0	57.8	22.9
南紀白浜2024年度 全体	(n=1066)	47.2	49.2	20.0
2024-2023年度差		▲ 5.8	▲ 8.7	▲ 3.0

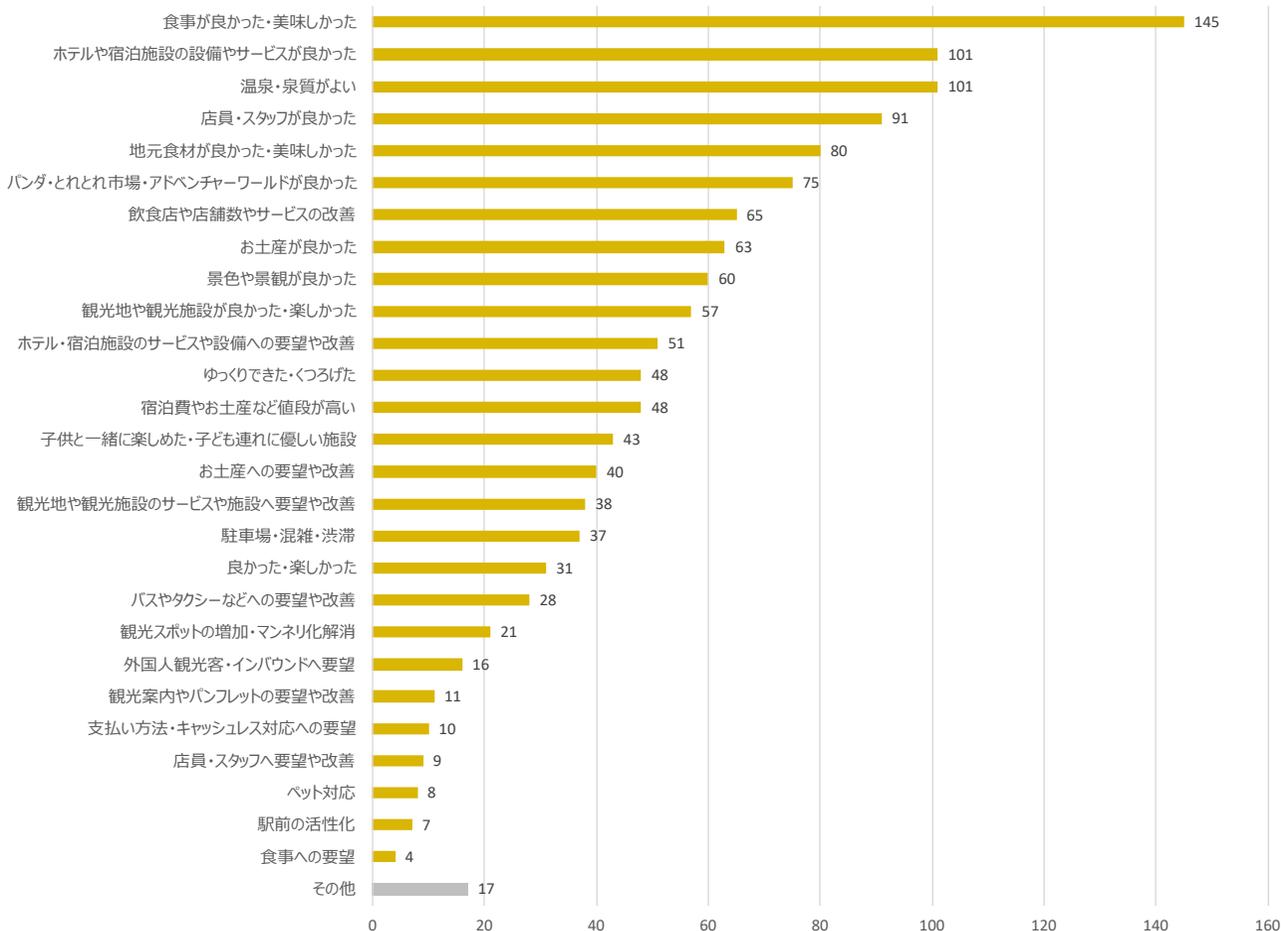
調査年度	調査数	総合満足度	再訪・紹介意向	交通快適度
南紀白浜2024年度 全体	(n=1066)	47.2	49.2	20.0
総合満足度別				
大変満足	(n=503)	100.0	85.1	37.6
性別				
男性	(n=350)	43.4	42.3	15.7
女性	(n=710)	49.4	52.8	22.3
年代別				
30代以下	(n=244)	58.6	58.6	29.9
40～50代	(n=541)	48.1	50.6	17.9
60代以上	(n=281)	35.6	38.1	15.3
居住エリア別				
和歌山県内	(n=113)	41.6	49.6	16.8
和歌山県外・計	(n=953)	47.8	49.1	20.4
大阪府	(n=326)	46.6	48.5	22.1
首都圏	(n=164)	49.4	47.6	14.6
旅行同行者別				
中学生以下の子供を含む家族	(n=237)	54.0	55.3	22.8
高校生以上の子供を含む家族	(n=188)	45.2	46.3	19.7
夫婦・カップル	(n=408)	48.8	48.3	19.4
友人・知人	(n= 84)	39.3	44.0	17.9
ひとり	(n=131)	36.6	46.6	16.8
その他	(n= 18)	55.6	61.1	33.3
来訪回数別				
初めて	(n=288)	48.3	46.2	20.1
リピーター	(n=778)	46.8	50.3	19.9
来訪時期別				
夏季	(n=594)	48.3	51.9	20.9
秋季	(n=351)	44.2	42.7	17.1
冬季	(n=121)	50.4	54.5	24.0
滞在時間別				
日帰り	(n=124)	43.5	46.8	14.5
宿泊	(n=942)	47.7	49.5	20.7

▶「食事が良かった・美味しかった」が145件と突出して高い。次いで、「ホテルや宿泊施設の設備やサービスが良かった」「温泉・泉質がよい」（101件）が100件を超え上位。いずれもよかった点が並ぶ

▶改善点は、「飲食店や店舗数やサービスの改善」（65件）「ホテル・宿泊施設のサービスや設備への要望や改善」（51件）「宿泊費やお土産など値段が高い」（48件）が上位

■ 宿泊・飲食・土産などについてよかった点・改善点（全体／自由回答）件数

Q19FA. 南紀白浜内の施設（宿泊・飲食・土産）について、良かった点・改善点等ありましたらご記入ください。



▶“馴染みの宿”があるリピーターの方からのご意見が多くみられた。「食事が良かった・美味しかった」に関しても宿泊施設の食事を指すものが多く、「温泉・泉質がよい」など評価は高い。また、「スタッフや店員がよかった」も多く、スタッフや店員のサービスがよいと全体的な満足度が高まる傾向がみられる

▶“馴染みの宿”だからこそ課題：「宿泊費が高くなった」「ホテル・宿泊施設のサービスや設備への要望や改善」が散見される

▶食事についての満足度が非常に高い。「海鮮」という言葉が非常に多く、満足度を高めていることがわかる。とれとれ市場・アドベンチャーワールドについては施設の評価が高い一方で施設内の食事については意見がわかれる部分でもあった

－ ホテル・宿泊施設への要望や課題

- － リピーターならではの視点として「以前来た時より」「昔と比べ」のような経年変化を交えての自由記述がみられた。建物の老朽化などは仕方のないことではあるものの、古くても清潔感を保つ・スタッフの質の向上などで満足度を高めることで補っているケースもみられる。子供連れ客からは満足度が高い意見が多い一方で「バリアフリー」に関する意見がみられた。来訪者の年代が高まっていることもあり、ケアが必要と考えられる

－ 食事への要望や課題

- － 宿泊施設での食事は概ね評価が高いが、外食については「飲食店の数が少ない」ことが挙げられる。旅行者数と飲食店数のバランスは確認が必要だと思うが、「情報が欲しい」という自由記述もみられることから現地での案内が充実するとよさそうである。現在案内されている店舗に集中することから“混んでいる”という意見も見られた。物価高騰の影響もあり“高い”というご意見も散見されたため、カジュアルに食べられるものなどTPOに合わせた訴求の仕方なども工夫があるとよさそうである
- － 海鮮が名物であることから「地元産食材」への期待と注目が集まっている。とれとれ市場の食事の評価は高いものの、混雑時や地元産食材が入らなかったタイミングなどによりやはり評価が変動してしまう

－ 土産への要望や課題

- － お土産の種類が多いことについて評価が高い一方で、「種類が少ない」という意見もみられる。「どれも同じように見える」「どれがお勧めか教えてほしい」という声が見られ、種類はあっても同じように見えてしまいメリハリが感じられていないのかもしれない
- － 食事への要望と同様、お土産についても「地元産」が求められている

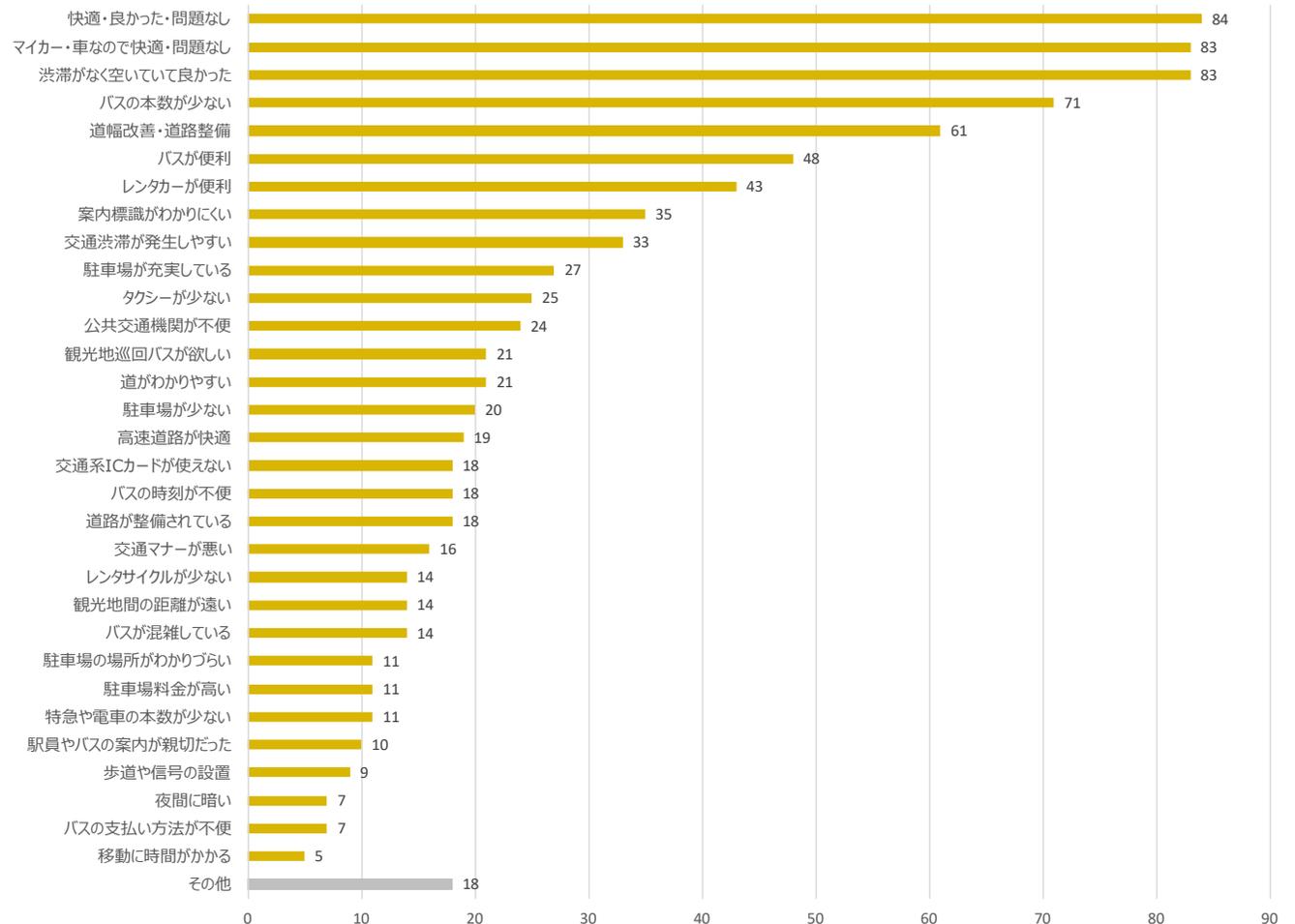
－ その他受入整備について

- － 夏の気温上昇に伴い、「日陰」「冷房」「休める場所」の要望がみられた
- － 駅前の活性化→電車の待ち時間などの有効活用、廃業した宿泊施設や観光施設の対応→景観の悪化を防ぐなど
- － バリアフリー対応、トイレの整備など

- ▶「快適・良かった・問題なし」(84件)「マイカー・車なので快適・問題なし」「渋滞がなく空いていて良かった」(83件)が上位。
- ▶次いで、「バスの本数が少ない」(71件)「道幅改善・道路整備」(61件)が50件を超え、上位3項目についてはよかった点が並ぶが、自由記述のほとんどが要望や改善に関するものが多い傾向

■移動や交通などについてよかった点・改善点 (全体/自由回答) 件数

Q21FA. 南紀白浜内での移動や交通は快適でしたか。良かった点・改善点等ありましたらご記入ください。



▶「快適・良かった・問題なし」「マイカー・車なので快適・問題なし」「渋滞がなく空いてよかった」の3項目が上位で満足度が高い一方で、「バスの本数が少ない」「道幅改善・道路整備」など更なる改善が求められている

▶「バスが便利」という自由回答も上位ではあるが、基本的に「車移動」を前提とした回答となっており「渋滞」「バスの本数」については利用時期（休日／平日、繁忙期／通常期・閑散期）による違いも大きい

- GWや夏休み期間など混雑が予想される場合の対策を実施されていると思うので引き続き対応は必要になりそう
- 「バス」は一定の利便性を担保しており、評価が高い

- バスに関する要望や課題

- 「バスの本数」に付随して、待ち時間の対処に関する意見がみられた。例えば「バスの時刻表が不便」「待っている間暑すぎる」「座る場所がない」などの声が聞かれ、増便の検討前に時刻の共有や待っている場所の快適さなどの配慮でもストレスは軽減されそうである
- 観光地巡回バスが欲しいという意見がみられるが、現在の路線バスはそれに相当している。有名な観光地のみストップするバスが欲しいという意味だろうが、現在の路線バス上に途中下車して寄って欲しい観光資源を設けることでより地域周遊のチャンスにつなげることも考えられそう
- 支払い方法が多様になったのか、「支払いが便利」という声が昨年度より多い

- 車に関する要望や課題

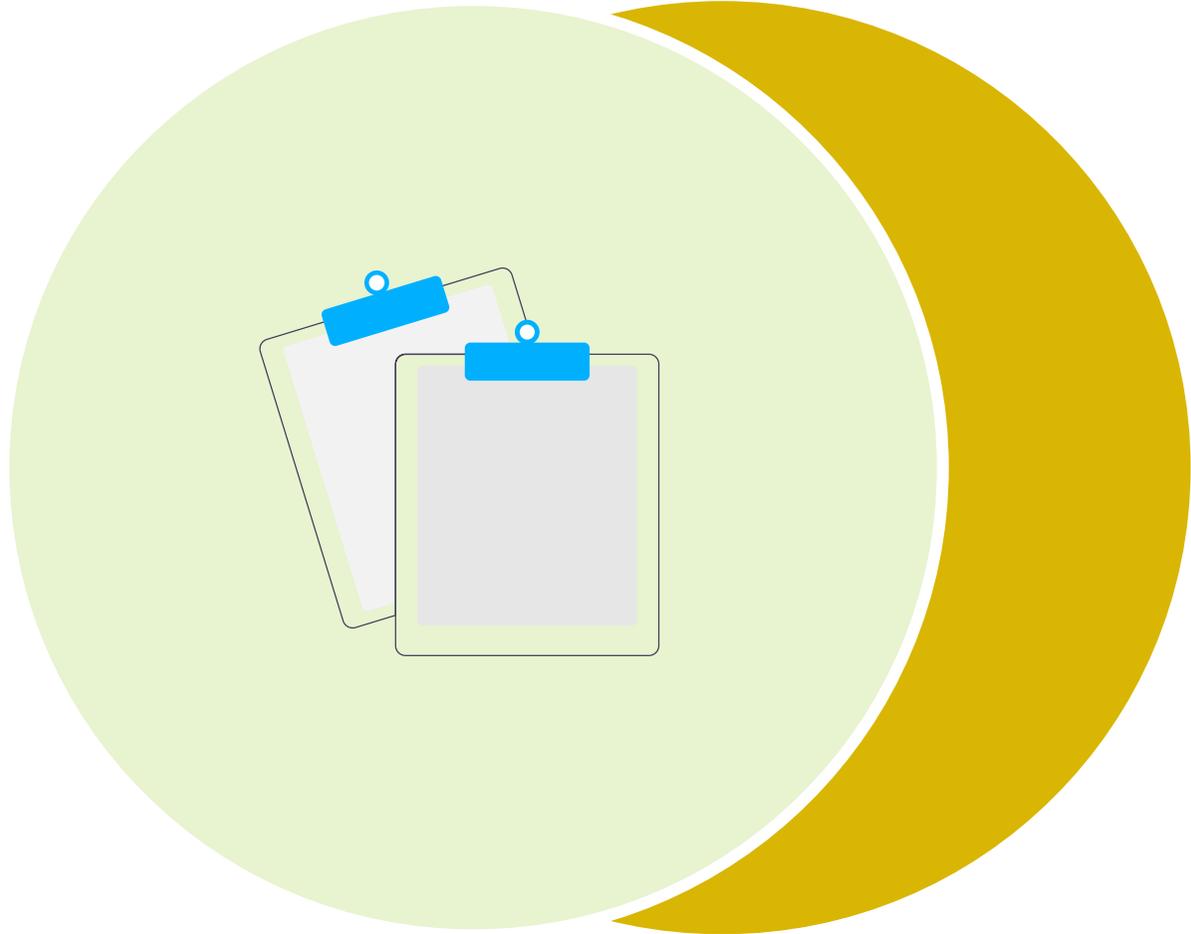
- 道幅・道路整備については「道が曲がりくねっている」「アップダウンが激しい」などで車酔いや運転への不安について記載がみられた。その分、自転車や歩行者のためのスペースも狭くなることから渋滞に繋がっていることも想定される
- 「タクシーが少ない」ことも散見されるが、繁忙期と閑散期で異なることや渋滞を招く要因にもなるため、「車移動」が前提となっている域内交通の整備計画などを検討してもよいのではないか

- その他

- 上記の車に関する要望や課題の「道幅」にも関することだが、「歩道の設置」「信号の設置」「夜間に暗い」など自転車や歩行者の安全に対する意見がみられた。件数は少ないものの、子供連れの観光客も多いため注意喚起をはじめとした対応が必要と考えられる

▶回収サンプルの日帰り客と宿泊客の割合については、経年で日帰り客のサンプルも増加傾向にあり、少しずつ実態に即したサンプル数が確保されてきている

-本年度は、日帰り客12%、宿泊客88%と、依然として宿泊客の割合が高い状況である。日帰り客は和歌山県内からの来訪が突出して多い。また、日帰り客の体験内容では、「地元の名産品や郷土料理（海産物、和歌山ラーメンなど）」「地元の飲食店（カフェ、レストランなど）」「動物園や水族館などの観光施設」「自然や景勝地（洞窟・断崖など）」「文化施設（資料館・博物館）」が上位に挙げられた。今後、日帰り客のサンプル獲得を強化するために、比較的回答する時間が獲れる「飲食店」を調査地点に加えることを検討してもよいと考えられる



06

付表

- 調査票

南紀白浜への旅行に関するアンケート2024年度

この度は南紀白浜にお越し下さりありがとうございます。お手数とは存じますが、今後の南紀白浜での観光をより良くなるためのアンケートにぜひご協力ください。回答された方から抽選で人気ホテルの宿泊券や地元特産品をプレゼントいたします。（発表は当選を持って変更させていただきます。）このアンケートに 26 の質問があります。

Q0

あなたがこのアンケートを依頼された・知った場所をひとつだけお選びください。*

回答を 1 つ選択
以下から 1 つだけ 選んでください：

湯快リゾートプレミアム 白浜彩朝楽
湯快リゾートプレミアム 白浜御苑
湯快リゾートプレミアム ホテル千畳
ホテルのアサ
くろしお想
南紀白浜 和みの湯 花鳥風月
ホテル川久
紀州・白浜温泉むさし
白良荘グランドホテル
温泉三昧の宿 白浜館
旅館 万孝
癒しの宿 クアハウス白浜
ホテル三栄荘
南紀白浜マリottiホテル
家族と過ごす白浜の宿 柳屋
SHIRAHAMA KEY TERRACE HOTEL SEAMORE
オーベルジュサステラス
浜千鳥の湯 海舟
ホテル天山閣海舟亭
INFINITO HOTEL & SPA 南紀白浜
エクソプ白浜
エクソプ白浜アネックス
椿温泉 海椿葉山
椿温泉 しらさぎ
リヴァージュ・スパひきがわ
アドベンチャーワールド
白浜エンジェルランド
三段壁洞窟
グラスボート
京都大学水族館
南方熊楠記念館
白浜美術館・軟真神社
白浜駅
南紀白浜エアポート
明光バス
観光案内所しらすな
紀伊半島観光情報ステーション
道の駅 海来館
椿温泉 はなの湯
とれとれ市場南紀白浜
茜・千畳茶屋
フィッシャーマンズワフ白浜
白浜町
白浜町商工会
白浜温泉旅館同組合
その他

性別を教えてください。*

回答を 1 つ選択
以下から 1 つだけ 選んでください：

男性
女性
その他

Q2

年齢を教えてください。*

回答を 1 つ選択
以下から 1 つだけ 選んでください：

19歳以下
20-29歳
30-39歳
40-49歳
50-59歳
60-69歳
70歳以上

Q3-Q4

居住地を教えてください。*

回答を 1 つ選択

Q5

今回の旅行の同行者を教えてください。*

回答を 1 つ選択
「その他：」を選ぶ際は、以下の欄にご自身で記入してください。
以下から 1 つだけ 選んでください：

中学生以下の子供を含む家族
高校生以上の子供を含む家族
夫婦・カップル
友人・知人
ひとり
その他

Q6

居住地から南紀白浜までの移動手段を教えてください。*

該当するものにチェックを入れてください
あてはまるものを全て選んでください。

マイカー
レンタカー
電車
飛行機
高速バス
貸切・観光バス
タクシー
バイク
自転車
フェリー

Q7

南紀白浜内での移動手段を教えてください。*

該当するものにチェックを入れてください
あてはまるものを全て選んでください。

マイカー
レンタカー
タクシー
電車
バイク
路線バス
送迎バス
貸切・観光バス
ご自身の自転車
レンタサイクル
徒歩

Q8

南紀白浜での宿泊数を教えてください。*

回答を 1 つ選択
以下から 1 つだけ 選んでください：

1泊
2泊
3泊以上
日帰り

Q9

宿泊の形態を教えてください。*

次の条件を満たした場合にのみ、この質問に回答してください：
Q8 <= 3

該当するものにチェックを入れてください
あてはまるものを全て選んでください。

一泊二食付
一泊朝食付
一泊食事なし
宿泊施設以外

Q10

10年以内の南紀白浜への来訪回数を教えてください。*

回答を 1 つ選択
*以下から 1 つだけ 選んでください：

初めて
2回目
3回目
4回目
5回目以上

Q11

旅行先として南紀白浜を選んだ際の情報源は何ですか。*

該当するものにチェックを入れてください
あてはまるものを全て選んでください。

以前来訪した際の自身の経験
家族や友人知人からの紹介・推奨
旅行会社のウェブサイト
県市町村や地元観光局のウェブサイト
SNS（Facebook、Instagram、X：旧Twitterなど）
県市町村や地元観光局のサイト、ブログ
観光情報を中心のサイト・ブログ（じゃらんnetやトリップアドバイザーなど）
その他インターネットの情報
旅行雑誌・ガイドブックの記事
テレビや映画での紹介、ロー地情報
自分の意志外（団体旅行、ビジネス、帰省など）
その他:

Q12

再訪の決め手となったことを教えてください。*

次の条件を満たした場合にのみ、この質問に回答してください：
Q10 >= 2

回答を 1 つ選択
「その他：」を選ぶ際は、以下の欄にご自身で記入してください。
以下から 1 つだけ 選んでください：

温泉
グルメ
宿泊施設
海のアクティビティ（海水浴、ダイビング、釣りなど）
山でのアクティビティ（キャンプ、トレッキング、ハイキングなど）
動物園や水族館などの観光施設
サイクリング
自然や景勝地（洞窟・断崖など）
歴史的な名所（史跡・寺社仏閣）
文化施設（資料館・博物館）
有料の体験ツアーや体験プログラム
祭りやイベント
地元住民の方とのコミュニケーション
その他

Q13S1

南紀白浜の前に立ち寄った観光地をすべて教えてください。*

該当するものにチェックを入れてください
あてはまるものを全て選んでください。

和歌山市（和歌山城、紀三井寺、和歌山マリナシティなど）
高野山町（壇上伽藍、金剛峯寺など）
田辺市（熊野古道、熊野本宮大社、天神崎など）
串本町（潮岬、徳杭岩、串本海中公園、トルコ記念館など）
那智勝浦町（那智の滝、熊野那智大社など）
新富市（熊野速玉大社、佐藤春夫記念館など）
大阪
京都
三重
愛知
特になし
その他:

Q22

南紀白浜全体の満足度を教えてください。*

回答を 1 つ選択

以下から 1 つだけ 選んでください:

- 大変満足
- 満足
- やや満足
- どちらでもない
- やや不満
- 不満
- 大変不満

Q23

自身の再来訪を含めて、家族や知人、友人に勧めたいか教えてください。*

回答を 1 つ選択

以下から 1 つだけ 選んでください:

- 大変そう思う
- そう思う
- ややそう思う
- どちらでもない
- あまり思わない
- そう思わない
- 全く思わない